

# 第6次大野城市総合計画前期基本計画 まちの姿アンケート結果

## 1 アンケート調査概要

### (1)調査の目的

第6次大野城市総合計画前期基本計画に掲げる「めざそう値」を把握し、その結果を基に施策の達成度評価を行うもの。

### (2)実施期間

令和元年度から令和5年度 各1回

### (3)対象者条件

満16歳以上の市民

※ コミュニティごとの人口に着目した比例配分法による層化無作為抽出方式により抽出した対象者 1,000 名及び前回の調査で継続調査に同意した人

### (4)アンケート方式

郵送配付・郵送回収・WEB 回答(令和4年度・令和5年度のみ)

### (5)アンケート回収結果

	発送件数(件)			回収件数(件)			回収率(%)		
	新規	継続	計	新規	継続	計	新規	継続	計
R1	1,000	165	1,165	435	99	534	43.5	60.0	45.8
R2	1,000	267	1,267	444	167	611	44.4	62.5	48.2
R3	1,000	377	1,377	435	215	650	43.5	59.1	47.2
R4	1,000	479	1,479	340	227	567	34.0	47.3	38.3
R5	1,000	555	1,555	394	254	648	39.4	45.8	41.7

### (6) アンケート結果の指標化方法

第6次大野城市総合計画前期基本計画に掲げる大施策ごとの達成状況について、次の選択肢から回答いただいている。

- A評価＝充分達成している
- B評価＝ほぼ達成している
- C評価＝まあまあ達成している
- D評価＝あまり達成されていない
- E評価＝ほとんど達成されていない

そして、達成度の指標化は、下記の算式により行う。

$$(A\text{評価回答数} \times 5\text{点} + B\text{評価回答数} \times 4\text{点} + C\text{評価回答数} \times 3\text{点} + D\text{評価回答数} \times 2\text{点} + E\text{評価回答数} \times 1\text{点}) \div (\text{総回答数} - \text{無回答数})$$

したがって、指標の上限は「5」、下限が「1」、中間値が「3」となる。

## 2 調査結果

### (1)政策 01 地域と行政の共働による魅力輝くまちづくり ～地域づくり・自治体経営～

地域のつながりを大切にしながら、市民同士や市民と行政が対等な立場で連携し、一人一人が主体的に関わる共働のまちを目指します。

また、生涯学習やスポーツ活動、地域行事などを通して人と人がつながり、お互いを尊重し合えるまちを目指します。そして、歴史や文化、産業といった地域の魅力をつなぎ、にぎわいの輪を広げることで、誰もが誇りを持てる活力あるまちづくりを進めます。

将来を見据えた行財政運営に努め、職員一人一人が問題意識を持ちながら、新たな発想と創意を凝らした効果的な施策を打ち出し、市民の期待や時代に合致した行政サービスのさらなる推進を目指します。

また、新たな時代にふさわしいまちの在り方を研究し、付加価値を高め、積極的に情報を発信していくことで、魅力あるまちづくりを進めます。

#### 【調査結果表】

	当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
1 地域と行政の共働 市民が地域の中で主体的にまちづくりに関わりやすい環境が整っており、市民と行政が連携し、支え合いながらまちづくりが進められている。	3.02	3.27	3.04	3.01	3.02	3.06	3.02	-0.25	±0.00
			(3.14)	(3.11)	(3.12)	(3.15)	(3.14)	-0.13	+0.12
			(3.01)	(2.97)	(2.97)	(2.99)	(2.94)	-0.33	-0.08
2 産業の振興 市内の商工業が活気にあふれ、精力的に活動しているほか、市街地と農地が共存し、農地の利活用が進められている。	3.24	3.41	3.22	3.05	3.02	3.10	3.03	-0.38	-0.21
			(3.57)	(3.19)	(3.12)	(3.13)	(3.10)	-0.31	-0.14
			(3.14)	(3.00)	(2.96)	(3.08)	(2.99)	-0.42	-0.25
3 地域資源の活用 市内の自然・歴史・産業・イベント・施設・人などの地域資源の魅力が活かされ、多くの人でにぎわっている。	2.84	3.18	2.97	2.97	3.03	3.28	3.20	+0.02	+0.36
			(2.99)	(3.02)	(3.18)	(3.36)	(3.28)	+0.10	+0.44
			(2.97)	(2.95)	(2.96)	(3.23)	(3.15)	-0.03	+0.31
4 心のふるさと館を核としたふるさと意識の醸成 「心のふるさと館」を核として、市民が「ふるさと大野城」に誇りを持ち、愛着が深まるようなまちづくりが進められている。	3.15	3.35	3.15	3.14	3.18	3.22	3.16	-0.19	+0.01
			(3.40)	(3.13)	(3.12)	(3.15)	(3.10)	-0.25	-0.05
			(3.10)	(3.15)	(3.19)	(3.26)	(3.20)	-0.15	+0.05
5 文化財の調査・保護・啓発 文化財の調査・保護を進め、次の世代に残していくとともに、啓発活動などを通じて、文化財を大切に思い、地域を愛する心が育まれている。	2.91	3.12	3.01	3.13	3.13	3.19	3.14	+0.02	+0.23
			(3.16)	(3.29)	(3.37)	(3.31)	(3.22)	+0.10	+0.31
			(2.98)	(3.06)	(3.02)	(3.11)	(3.09)	-0.03	+0.18
6 生涯学習の推進 「まどかびあ」やコミュニティセンター、公民館などにおいて、学習の機会や場所が整っており、生涯学習や芸術文化活動などを通して、地域の人と人とのつながりが深まっている。	2.51	2.81	2.71	2.79	2.81	2.85	2.75	-0.06	+0.24
			(2.98)	(3.05)	(3.04)	(3.05)	(3.03)	+0.22	+0.52
			(2.66)	(2.69)	(2.70)	(2.72)	(2.54)	-0.27	+0.03
7 生涯スポーツの推進 生涯にわたりスポーツを楽しむ環境が整備され、スポーツ活動を通じた地域の人と人とのつながりが深まっている。	2.89	3.21	3.01	3.13	3.13	3.17	3.08	-0.13	+0.19
			(3.06)	(3.19)	(3.26)	(3.25)	(3.17)	-0.04	+0.28
			(3.00)	(3.10)	(3.07)	(3.12)	(3.02)	-0.19	+0.13
8 人権教育・啓発と男女共同参画の推進 人権教育や啓発に取り組む関係団体と行政が互いに連携しながら、一人一人の人権が尊重され、お互いを理解し、認め合う人権社会と男女共同参画社会がつくられている。	3.04	3.26	3.04	2.99	3.01	3.06	3.00	-0.26	-0.04
			(3.23)	(3.06)	(3.12)	(3.21)	(3.04)	-0.22	-0.00
			(3.00)	(2.97)	(2.96)	(2.96)	(2.97)	-0.29	-0.07
9 情報提供の充実と情報の管理 広報紙やホームページなどで市民に必要な情報が十分に配信されており、市民との双方向的な意見交換が進められているほか、個人情報保護の取り組みが十分に行われている。	2.74	3.04	2.84	2.92	2.93	2.92	2.85	-0.19	+0.11
			(2.69)	(2.82)	(2.92)	(2.92)	(2.82)	-0.22	+0.08
			(2.88)	(2.96)	(2.94)	(2.92)	(2.89)	-0.15	+0.15

## ① 地域と行政の共働

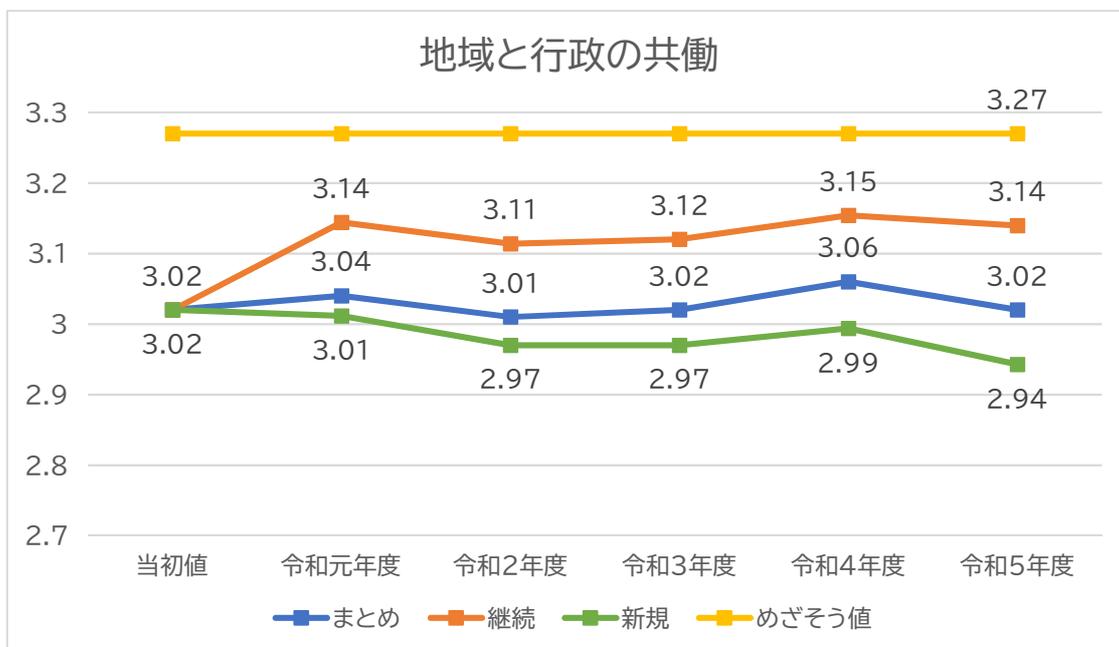
めざそう値 3.27

市民が地域の中で主体的にまちづくりに関わりやすい環境が整っており、市民と行政が連携し、支え合いながらまちづくりが進められている。

当初値 3.02 現状値(R05年度) 3.02 (+0.00pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.02	3.27	3.04	3.01	3.02	3.06	3.02	-0.25	±0.00
		(3.14)	(3.11)	(3.12)	(3.15)	(3.14)	-0.13	+0.12
		(3.01)	(2.97)	(2.97)	(2.99)	(2.94)	-0.33	-0.08

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動は中止や規模の縮小となり、活動が制限されていた状況もあったが、これまで市民と行政が相互に協力しコミュニティによるまちづくりを進めており、地域と行政の共働の意識が根付いているため、当初値から第5回調査まで数値が現状維持となったと考えられる。
- 今後は、令和6年度から新しくスタートするシン・コミュニティ構想に掲げる様々な取組を通して、市民と行政が更に連携し、コミュニティによるまちづくりを推進していく。

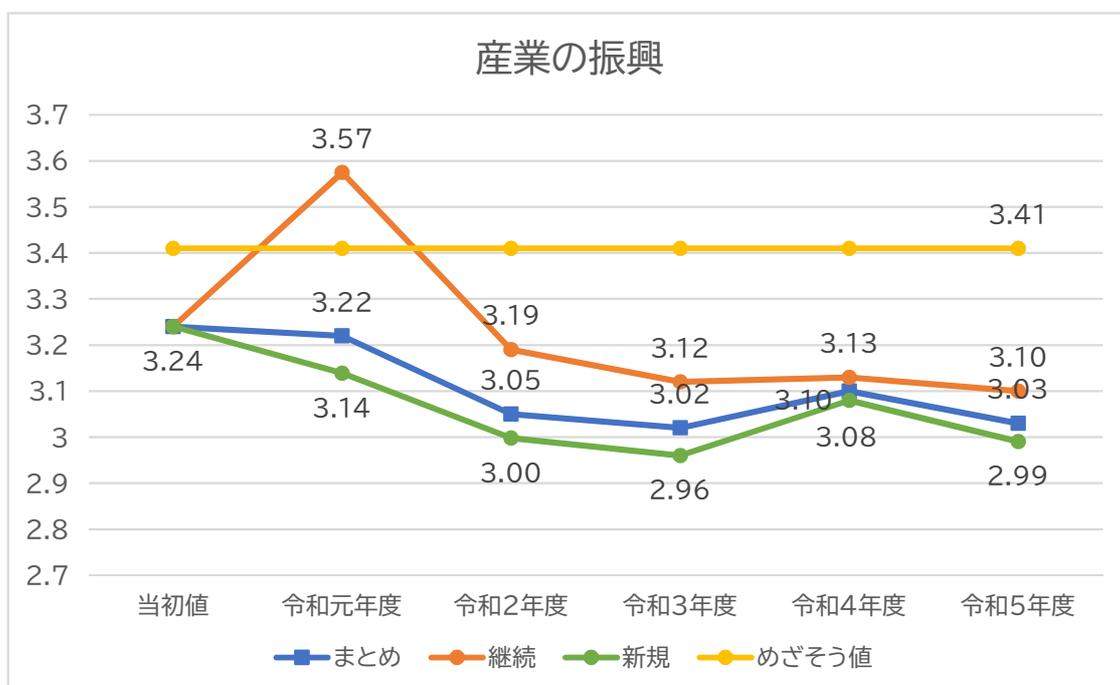
## ② 産業の振興 めざそう値 3.41

市内の商工業が活気にあふれ、精力的に活動しているほか、市街地と農地が共存し、農地の利活用が進められている。

当初値 3.24 現状値(R05年度) 3.03 (-0.21pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.24	3.41	3.22	3.05	3.02	3.10	3.03	-0.38	-0.21
		(3.57)	(3.19)	(3.12)	(3.13)	(3.10)	-0.31	-0.14
		(3.14)	(3.00)	(2.96)	(3.08)	(2.99)	-0.42	-0.25

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 商工業においては、コロナ禍により経済活動が抑制されたことが、第1回から第3回調査まで数値が低下した主な要因と考えられる。また、第4回調査以降は、緊急経済対策融資としての本市の市内中小企業へ利子と保証料の補助や、コロナ禍が落ち着いてきたことで消費活動が回復してきたことにより数値が一時上昇したが、ロシアのウクライナ侵攻などによる物価高騰の影響で、第5回調査で数値が低下したものと考えられる。
- ・ また、農業においては、農地保全のための農業者への支援や、市民農園の運営などの各施策を行っているが、農地の減少が進んでいることが、数値が低下している要因と考えられる。

### ③ 地域資源の活用

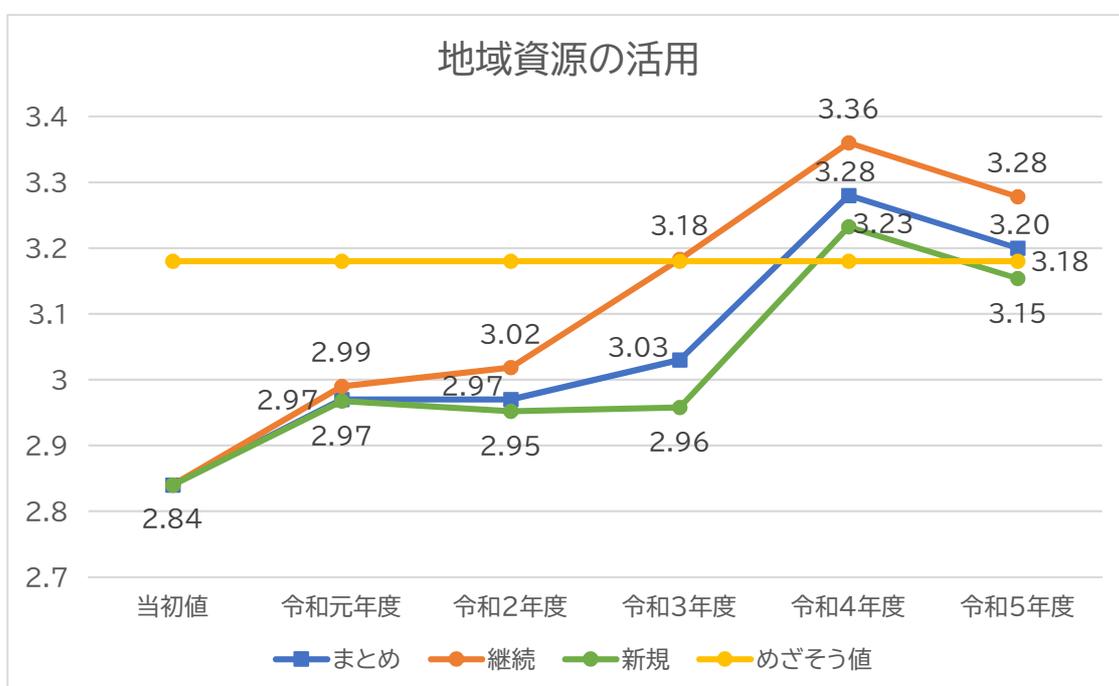
めざそう値 3.18

市内の自然・歴史・産業・イベント・施設・人などの地域資源の魅力が活かされ、多くの人でにぎわっている。

当初値 2.84 現状値(R05 年度) 3.20 (+0.36pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.84	3.18	2.97	2.97	3.03	3.28	3.20	+0.02	+0.36
		(2.99)	(3.02)	(3.18)	(3.36)	(3.28)	+0.10	+0.44
		(2.97)	(2.95)	(2.96)	(3.23)	(3.15)	-0.03	+0.31

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



#### 【所管課分析】

- ・ 第4回調査の数値が大きく上昇している理由としては、令和4年度は市制施行 50 周年記念の年であり、4月のオープニングセレモニーから3月のクロージングセレモニーまで、年間を通して市内の各地で定期的にイベントが実施されていたことから、多くの人でにぎわう場面が例年より多かったためと考えられる。
- ・ 第5回調査では、第4回調査よりも数値は低下しているものの、市制施行 50 周年で盛り上がった気運を一過性のものとしなないように、イベントの継続などでまちの魅力を発信してきたことで、めざそう値よりも上回った結果となっているものと考えられる。

#### ④ 心のふるさと館を核としたふるさと意識の醸成

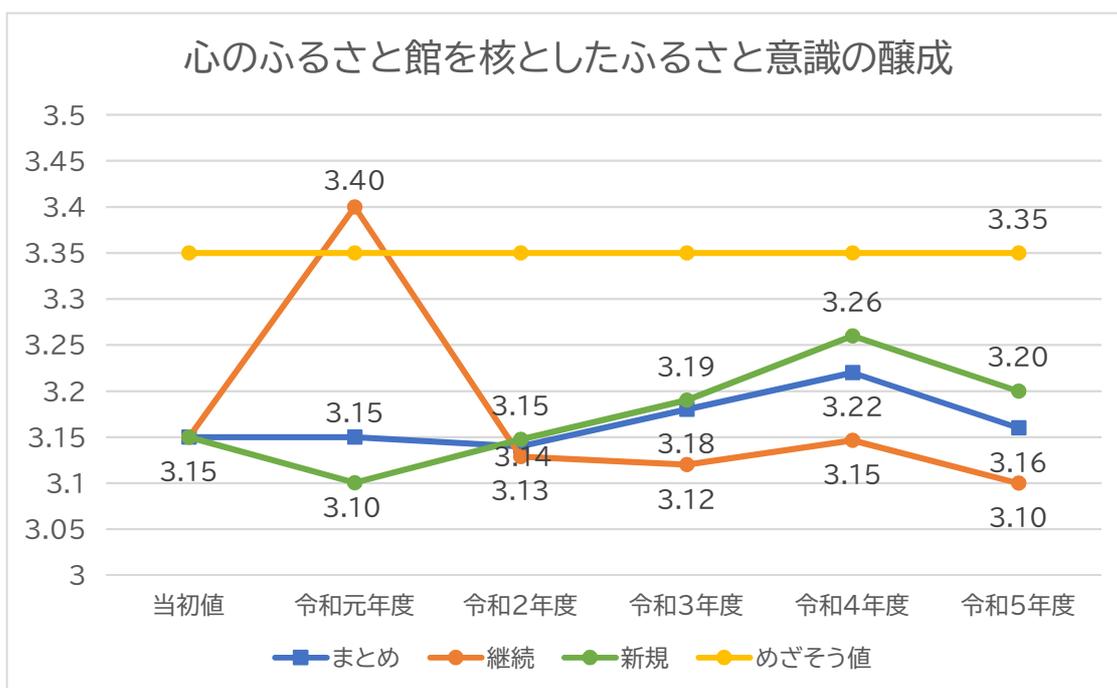
めざそう値 3.35

「心のふるさと館」を核として、市民が「ふるさと大野城」に誇りを持ち、愛着が深まるようなまちづくりが進められている。

当初値 3.15 現状値(R05年度) 3.16 (+0.01pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.15	3.35	3.15	3.14	3.18	3.22	3.16	-0.19	+0.01
		(3.40)	(3.13)	(3.12)	(3.15)	(3.10)	-0.25	-0.05
		(3.10)	(3.15)	(3.19)	(3.26)	(3.20)	-0.15	+0.05

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



#### 【所管課分析】

- ・ 心のふるさと館は、特別展をはじめとして多種多様な事業を実施し、開館から5年で45万人の方に来館いただいた。コロナ禍の影響を受けた期間においても、動画配信などのオンラインを活用した事業を展開してきたことで、数値は徐々に上昇したものと考えられる。
- ・ 第5回調査では数値が低下し、結果としてめざそう値の達成に至らなかったが、開館以来目標に掲げてきた年間来館者10万人を達成し、認知度が着実に向上してきている。今後も各種事業の充実等により、更なる来館者数の増を図ることで、市民のふるさと意識を醸成する役割を果たしていく。

## ⑤ 文化財の調査・保護・啓発

めざそう値 3.12

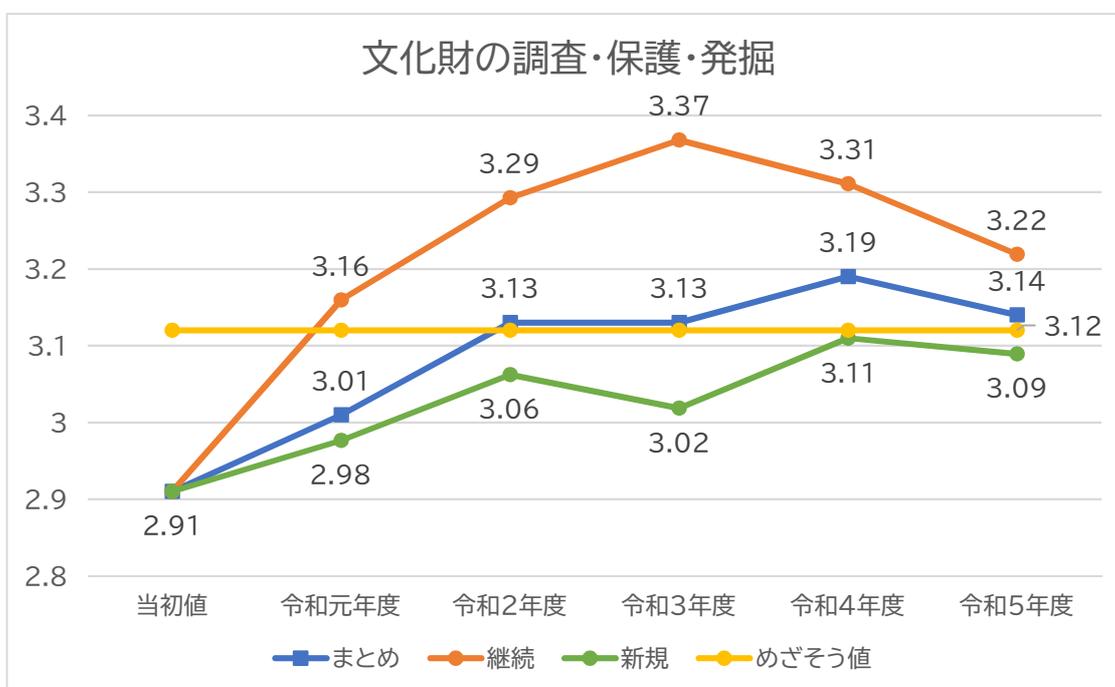
文化財の調査・保護を進め、次の世代に残していくとともに、啓発活動などを通じて、文化財を大切に思い、地域を愛する心が育まれている。

当初値 2.91

現状値(R05年度) 3.14 (+0.23pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.91	3.12	3.01	3.13	3.13	3.19	3.14	+0.02	+0.23
		(3.16)	(3.29)	(3.37)	(3.31)	(3.22)	+0.10	+0.31
		(2.98)	(3.06)	(3.02)	(3.11)	(3.09)	-0.03	+0.18

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 心のふるさと館で、特別史跡水城跡・大野城跡、国史跡牛頸須恵器窯跡をはじめとする各種文化財の展示や、関連する特別展を開催し、令和2年には、日本遺産「古代日本の「西の都」」が広域認定され、市内にある国指定史跡や善一田古墳群などが構成文化財に含まれることになり、文化財に関する知名度が高まった。
- ・ また、水城ゆめ広場や善一田古墳公園など、史跡整備が進展し、これらを活用した史跡めぐりの実施に加え、発掘調査や現地説明会、考古学講座などを継続的に実施したことにより、文化財に関する理解が進み、めざそう値を達成したものとする。今後も各種事業の充実により、文化財を大切に思い、地域を愛する心を育んでいく。

## ⑥ 生涯学習の推進

めざそう値 2.81

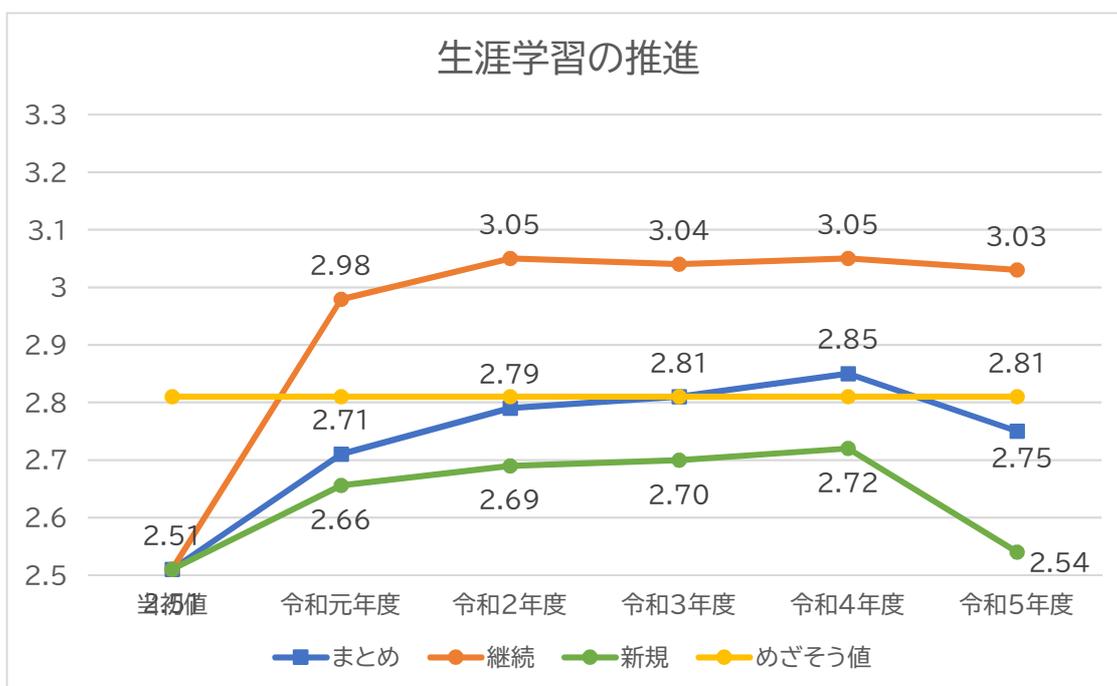
「まどかぴあ」やコミュニティセンター、公民館などにおいて、学習の機会や場所が整っており、生涯学習や芸術文化活動などを通して、地域の人と人とのつながりが深まっている。

当初値 2.51

現状値(R05年度) 2.75 (+0.24pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.51	2.81	2.71	2.79	2.81	2.85	2.75	-0.06	+0.24
		(2.98)	(3.05)	(3.04)	(3.05)	(3.03)	+0.22	+0.52
		(2.66)	(2.69)	(2.70)	(2.72)	(2.54)	-0.27	+0.03

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 当初値から第4回調査まで数値が上昇している要因は、令和元年度に策定した芸術文化振興プランに基づき、各種事業を実施したことが数値につながったものと考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設での生涯学習の機会は減少したが、個人での活動が進められたことも要因の一つであると考えられる。
- ・ また、生涯学習の普及啓発を目的とした「まどかフェスティバル」も、令和4年度以降来場者が増加しており、市民の学ぶ意欲の向上につながっていることが考えられる。一方で、学ぶ意欲の向上とともに、生涯学習を通じた人と人とのつながりなど、更なる生涯学習の充実が求められていることが、第5回調査の数値に表れていると考える。

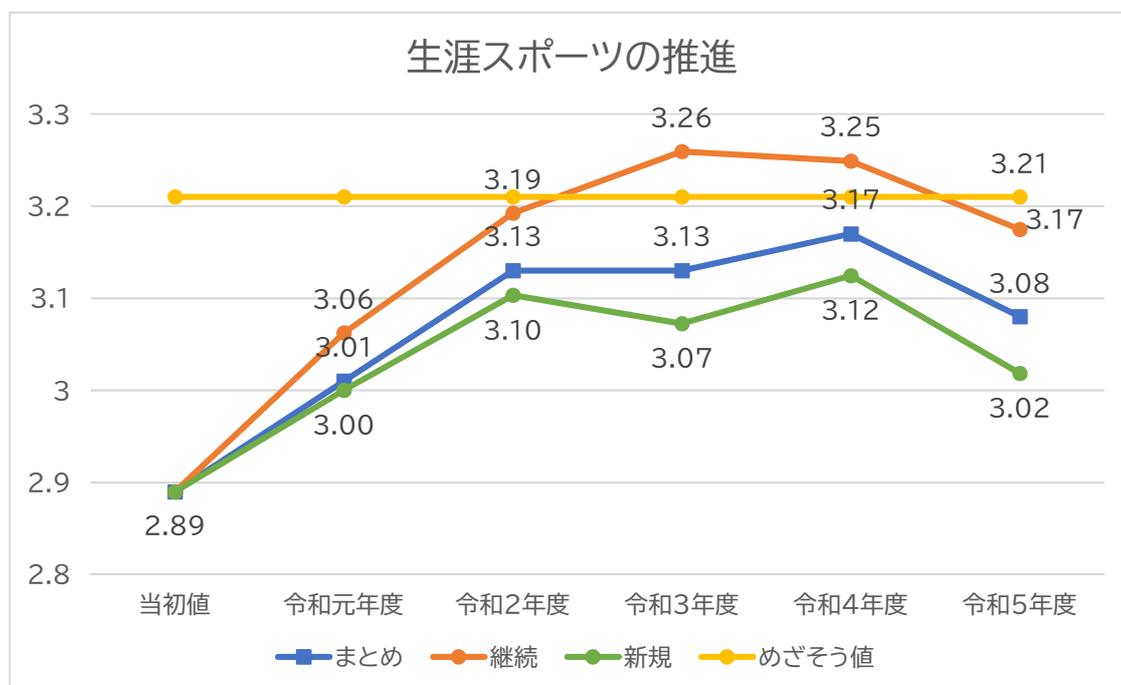
## ⑦ 生涯スポーツの推進 めざそう値 3.21

生涯にわたりスポーツを楽しむ環境が整備され、スポーツ活動を通じた地域の人と人とのつながりが深まっている。

当初値 2.89 現状値(R05年度) 3.08 (+0.19pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.89	3.21	3.01	3.13	3.13	3.17	3.08	-0.13	+0.19
		(3.06)	(3.19)	(3.26)	(3.25)	(3.17)	-0.04	+0.28
		(3.00)	(3.10)	(3.07)	(3.12)	(3.02)	-0.19	+0.13

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なスポーツイベントが中止となった時期もあったが、感染症対策を講じながら徐々にイベントを実施したことや、コロナ禍において個人のスポーツ活動が進められてきたことが数値の上昇につながったものと考えられる。
- ・第5回調査で数値が低下しているのは、コロナ禍で個人のスポーツ活動が進められた一方で、スポーツに関する意欲や、スポーツを通じた人と人とのつながりなど、スポーツ活動の充実が求められていることが考えられる。
- ・今後は、令和6年度のスポーツ推進計画の改定にあたり、アンケート調査等により新たなニーズを捉え、更なる生涯スポーツの推進を図っていく。

## ⑧ 人権教育・啓発と男女共同参画の推進

めざそう値 3.26

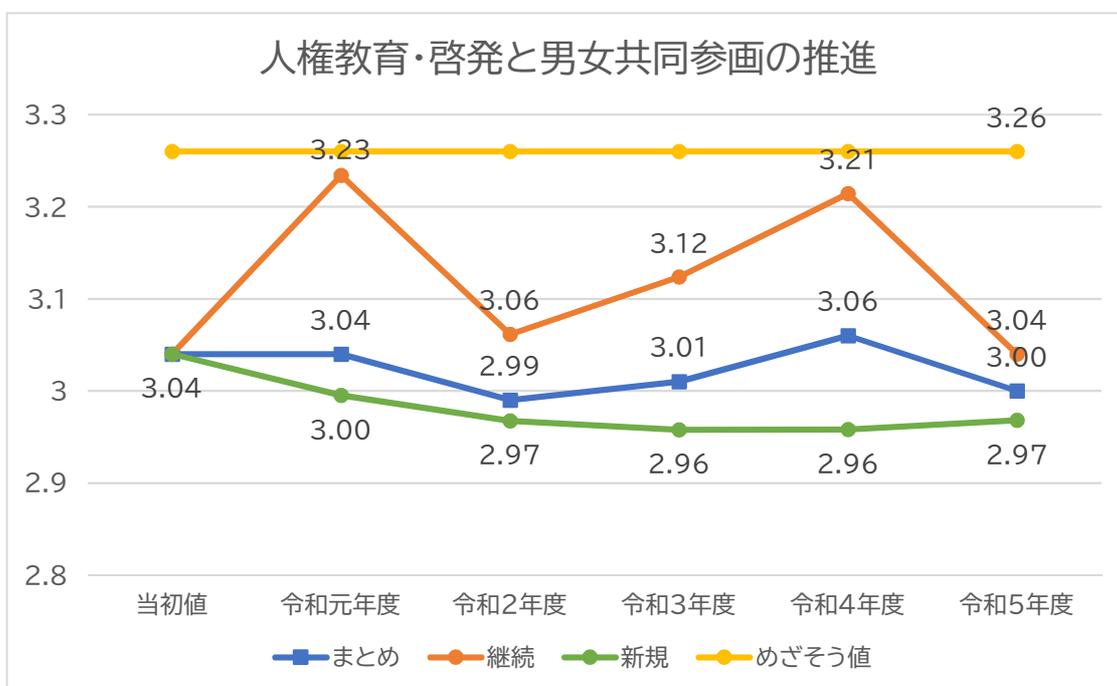
人権教育や啓発に取り組む関係団体と行政が互いに連携しながら、一人一人の人権が尊重され、お互いを理解し、認め合う人権社会と男女共同参画社会がつけられている。

当初値 3.04

現状値(R05年度) 3.00 (-0.04pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.04	3.26	3.04	2.99	3.01	3.06	3.00	-0.26	-0.04
		(3.23)	(3.06)	(3.12)	(3.21)	(3.04)	-0.22	-0.00
		(3.00)	(2.97)	(2.96)	(2.96)	(2.97)	-0.29	-0.07

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、約3年間、十分な啓発事業が実施できなかったことは、人権や男女共同参画に関する市民意識の高揚を図るうえで、影響があったものとする。
- ・ また、情報化社会の更なる進展に伴い、インターネット等での差別や人権侵害が多発する中で、わが国の人権や男女共同参画に関する不安が社会の中で浮き彫りになってきたことも調査結果に影響しているものと思われる。今後、ますます情報化が進む中で、社会の変化を適切に捉えながら、多くの市民から共感が得られる啓発活動を進めていく必要がある。

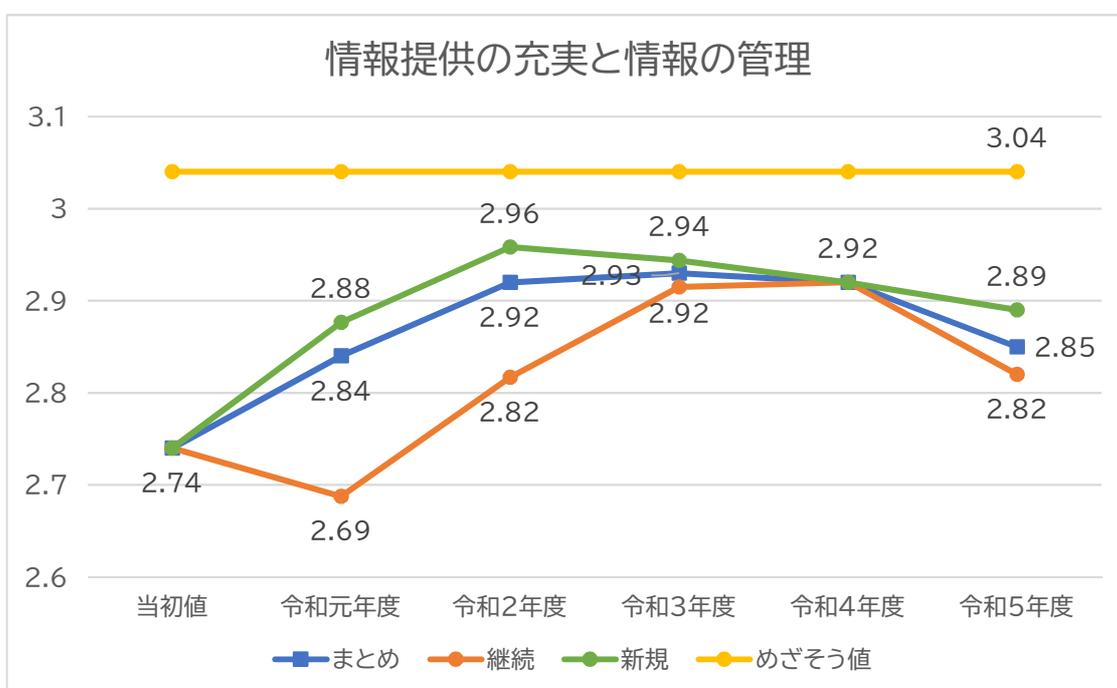
## ⑨ 情報提供の充実と情報の管理 めざそう値 3.04

広報紙やホームページなどで市民に必要な情報が十分に配信されており、市民との双方向的な意見交換が進められているほか、個人情報保護の取り組みが十分に行われている。

当初値 2.74 現状値(R05年度) 2.85 (+0.11pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.74	3.04	2.84	2.92	2.93	2.92	2.85	-0.19	+0.11
		(2.69)	(2.82)	(2.92)	(2.92)	(2.82)	-0.22	+0.08
		(2.88)	(2.96)	(2.94)	(2.92)	(2.89)	-0.15	+0.15

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 第4回調査までは、コロナ禍における感染者情報等や市制 50 周年記念事業のイベント情報など、市民の関心の高い情報を、ホームページや SNS 等を活用して、連日周知をしていたため、当初値から数値が上昇しているものと思われる。その後、コロナ禍が落ち着いたことや市制 50 周年記念事業の終了から、第5回調査においては数値が低下しているものとする。
- ・ 第5回調査までを通してめざそう値には届いておらず、今後は、一方的に情報を発信して「伝える」のではなく、「伝わる」ための取組が必要であり、「見る・聞く・行く・参加する」など具体的にどんな行動を起こしてほしいのかを考え、行動につなげる広報を「伝わる」ための取組を行っていく。

## (2)政策 02 未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちづくり ～子育て・教育～

子育てをめぐる環境が大きく変化する中、子育て世帯におけるさまざまなニーズに対応するために、保育環境や相談体制のさらなる充実を図り、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援に取り組めます。

また、地域の中で親子が自由にくつろげる場や保護者同士の仲間づくりができる機会を設け、安心して子どもを生み、育てられるまちづくりを進めます。

生きる力の基礎となる確かな学力と豊かな人間性を育むため、学校、家庭、地域と行政が一体となって未来の大野城市を担う子どもたちの教育に取り組めます。

また、青少年が活躍できる場や体験学習、ボランティア活動の機会の充実などにより、環境や時代の変化に柔軟に対応し、社会や地域に貢献できる青少年が育つまちづくりを進めます。

### 【調査結果表】

	当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
1 妊娠・出産・子育てに関する切れ目ない専門的支援の充実 保健・医療・福祉・教育の関係機関が連携し、妊娠期から子育て期の保護者が、安心して妊娠・出産と子育てができるような環境が整っている。	2.91	3.22	3.02	3.10	3.17	3.11	3.09	-0.13	+0.18
			(3.05)	(3.11)	(3.25)	(3.18)	(3.16)	-0.06	+0.25
			(3.02)	(3.10)	(3.12)	(3.06)	(3.04)	-0.18	+0.13
2 子育て支援の充実 子育て期の親子同士が地域の中でふれあう機会や場所が整っているほか、保護者への必要な支援や相談体制が充実している。	2.95	3.13	3.03	3.08	3.13	3.10	3.00	-0.13	+0.05
			(3.08)	(3.08)	(3.20)	(3.15)	(3.05)	-0.08	+0.10
			(3.01)	(3.09)	(3.10)	(3.07)	(2.96)	-0.17	+0.01
3 待機児童の解消と安全で安心な保育環境の維持 待機児童の解消に向けた取り組みや、安全で安心な保育環境を維持するための取り組みが進められている。	3.13	3.35	3.11	3.15	3.06	3.08	3.03	-0.32	-0.10
			(3.20)	(3.25)	(3.22)	(3.16)	(3.12)	-0.23	-0.01
			(3.10)	(3.11)	(2.99)	(3.03)	(2.96)	-0.39	-0.17
4 子ども・若者の健全育成 市民が丸となって心豊かな青少年を育むために、学校・家庭・地域・行政が連携して、子どもや若者一人一人の成長を継続して支援する環境づくりが進められている。	3.08	3.21	3.08	3.08	3.02	3.07	2.98	-0.23	-0.10
			(3.19)	(3.12)	(3.09)	(3.13)	(3.03)	-0.18	-0.05
			(3.06)	(3.06)	(2.98)	(3.03)	(2.95)	-0.26	-0.13
5 教育支援の充実と施設の整備 児童生徒やその保護者に対する必要な支援の実施や、学校施設の整備が進められ、安全・安心・快適・健康に学校生活を送ることができる環境が整っている。	2.89	3.10	3.03	3.12	3.19	3.17	3.11	+0.01	+0.22
			(3.01)	(3.09)	(3.33)	(3.24)	(3.20)	+0.10	+0.31
			(3.04)	(3.14)	(3.12)	(3.13)	(3.05)	-0.05	+0.16
6 学校教育環境の振興 学校教育における児童生徒用のコンピューターをはじめとした情報手段を活用するために必要な設備や学習教材などが充実しており、効果的に学習できる環境が整っている。	2.98	3.16	3.06	2.97	3.05	3.14	3.15	-0.01	+0.17
			(3.06)	(3.05)	(3.16)	(3.22)	(3.25)	+0.09	+0.27
			(3.06)	(2.94)	(2.99)	(3.08)	(3.08)	-0.08	+0.10
7 学校・家庭・地域・行政が連携した共育の推進 学校・家庭・地域・行政が連携して、子どもたちの放課後の居場所や家庭での学習環境づくりが進められている。	2.98	3.40	3.11	3.12	3.09	3.08	3.07	-0.33	+0.09
			(3.20)	(3.16)	(3.24)	(3.18)	(3.19)	-0.21	+0.21
			(3.09)	(3.10)	(3.02)	(3.01)	(2.99)	-0.41	+0.01
8 児童生徒の総合的な支援の充実 児童生徒の基礎的な知識や学ぶ意欲などを向上させ、確かな学力と豊かな人間性を育むとともに、いじめ対策や不登校の児童生徒およびその保護者への支援など、一人一人に寄り添った相談支援体制が整っている。	3.18	3.37	3.17	3.18	3.16	3.18	3.18	-0.19	±0.00
			(3.49)	(3.19)	(3.22)	(3.23)	(3.28)	-0.09	+0.10
			(3.11)	(3.17)	(3.13)	(3.14)	(3.11)	-0.26	-0.07

## ①妊娠・出産・子育てに関する切れ目ない専門的支援の充実

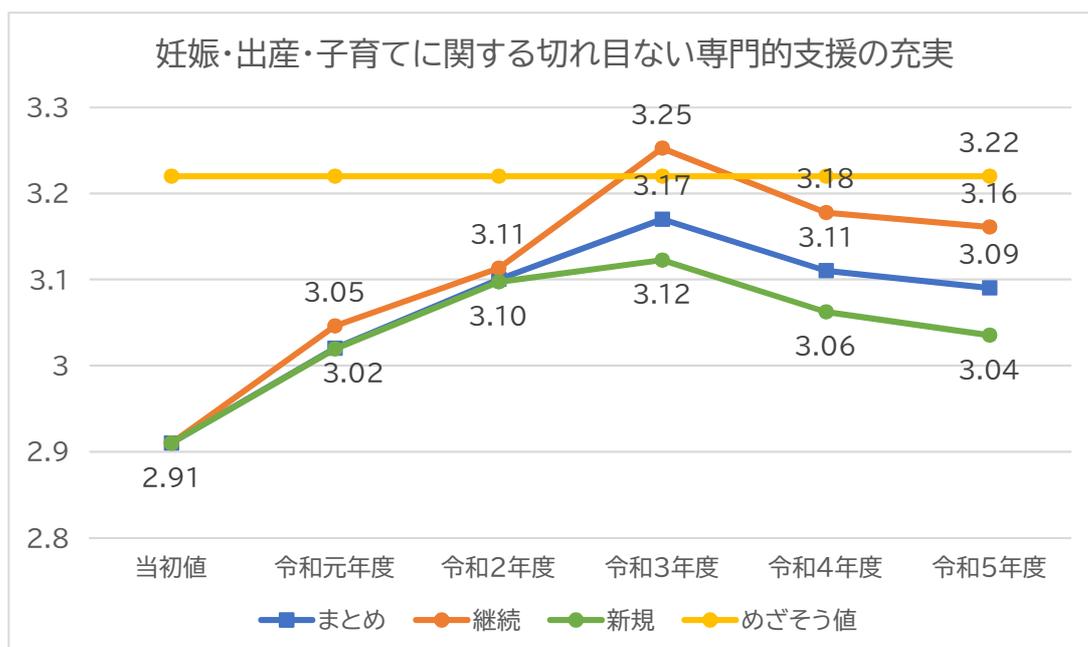
めざそう値 3.22

保健・医療・福祉・教育の関係機関が連携し、妊娠期から子育て期の保護者が、安心して妊娠・出産と子育てができるような環境が整っている。

当初値 2.91 現状値(R05年度) 3.09 (+0.18pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.91	3.22	3.02	3.10	3.17	3.11	3.09	-0.13	+0.18
		(3.05)	(3.11)	(3.25)	(3.18)	(3.16)	-0.06	+0.25
		(3.02)	(3.10)	(3.12)	(3.06)	(3.04)	-0.18	+0.13

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

・数値の上昇要因は、令和元年度に子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期からの相談支援体制の充実を図るとともに、コロナ禍においても、感染症対策を講じながら各事業を実施したことが考えられる。数値の高かった第3回調査は、令和3年度に妊婦対象の教室を見直し、対象者の拡充及び内容の充実を図ったことや、子ども家庭総合支援拠点を設置し、関係機関との更なる連携強化を図ったことなどが要因と考える。第3回調査以降に数値が低下している要因は、こども家庭庁の新設など、全国的にこどもに関する施策への注目度が高まったことが考えられる。令和6年度から、こども家庭センターを設置し、引き続き、母子保健と児童福祉の一体的な相談支援を行っていく。

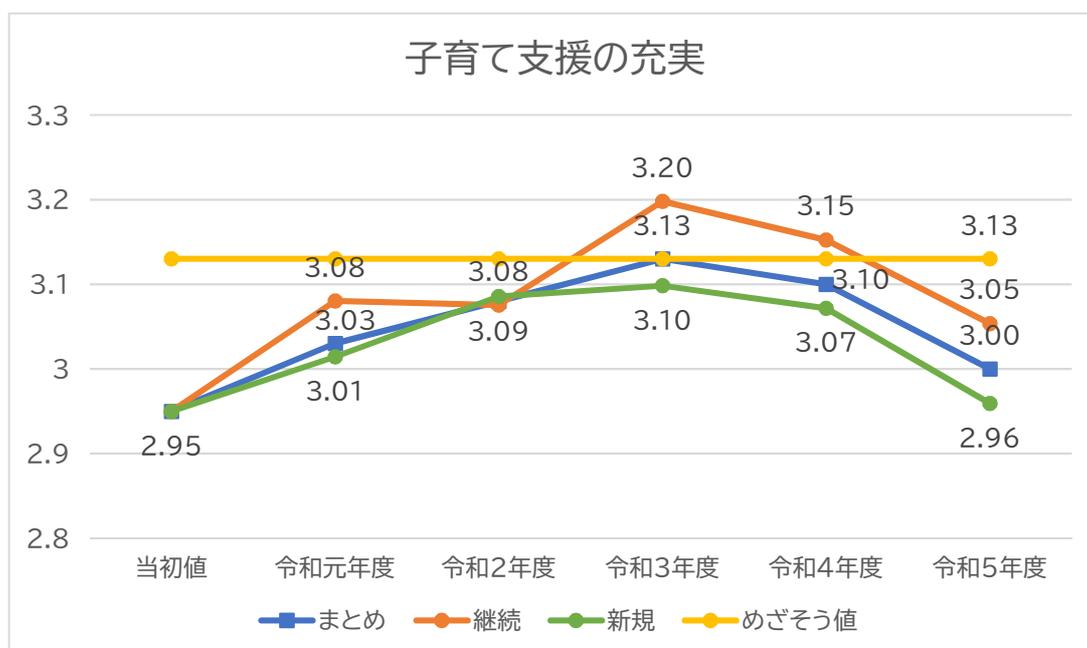
## ② 子育て支援の充実 めざそう値 3.13

子育て期の親子同士が地域の中でふれあう機会や場所が整っているほか、保護者への必要な支援や相談体制が充実している。

当初値 2.95 現状値(R05年度) 3.00 (+0.05pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.95	3.13	3.03	3.08	3.13	3.10	3.00	-0.13	+0.05
		(3.08)	(3.08)	(3.20)	(3.15)	(3.05)	-0.08	+0.10
		(3.01)	(3.09)	(3.10)	(3.07)	(2.96)	-0.17	+0.01

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 当初値から第3回調査まで数値が上昇した要因は、コロナ禍においても人数や時間を制限しながら、子育て期の親子がふれあう機会や場所の提供や相談支援を行ってきたことが考えられる。また、子育てサポートブックなどの子育て情報を発信し続けたことも要因の一つであると考えられる。
- ・ 第3回調査以降に数値が低下している要因は、こども家庭庁の新設など、全国的にこどもに関する施策への注目度が高まったことが考えられる。
- ・ 今後は、子育て支援に関する情報発信を強化するとともに、コロナ禍前と同様に事業を開催できるようになったことから、ニーズを反映した場の提供となるよう、各事業で実施している利用者アンケートを詳細に分析し事業を進めていく。

### ③ 待機児童の解消と安全で安心な保育環境の維持

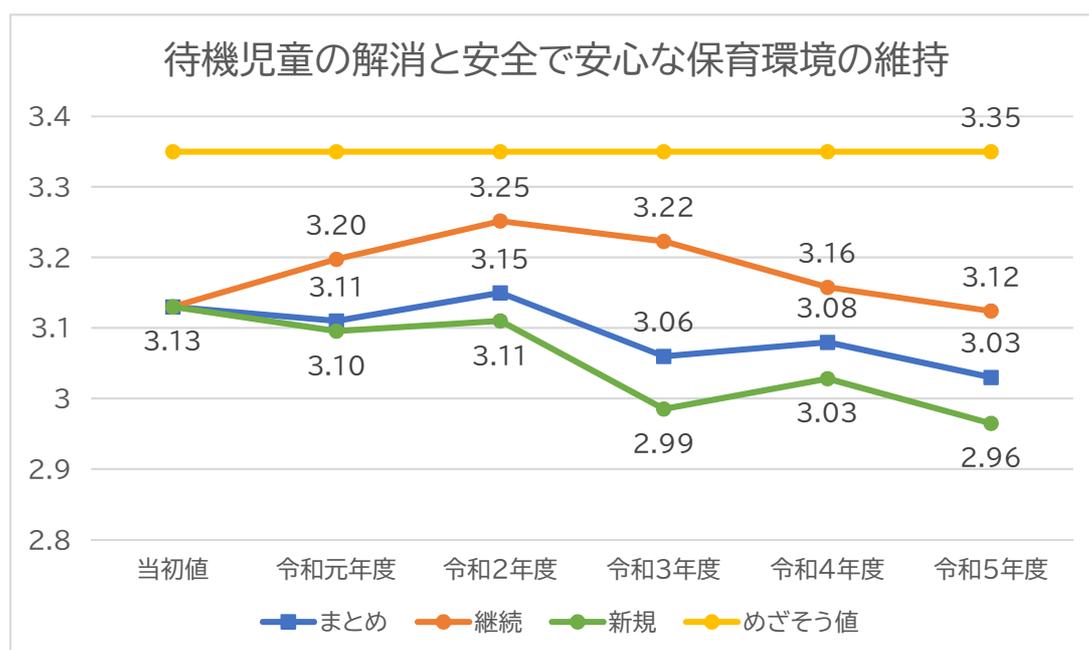
めざそう値 3.35

待機児童の解消に向けた取組や、安全で安心な保育環境を維持するための取り組みが進められている。

当初値 3.13      現状値(R05年度) 3.03 (-0.10pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.13	3.35	3.11	3.15	3.06	3.08	3.03	-0.32	-0.10
		(3.20)	(3.25)	(3.22)	(3.16)	(3.12)	-0.23	-0.01
		(3.10)	(3.11)	(2.99)	(3.03)	(2.96)	-0.39	-0.17

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



#### 【所管課分析】

- ・ 平成 30 年度から実施した「認可保育所定員拡充事業」により、計画当初から 669 人の定員増加を行ったことなどから、令和3年度から3年連続で4月1日時点の待機児童ゼロを達成している。
- ・ また、保育士等の負担軽減や午睡中の事故防止を目的とした保育施設 ICT 化推進事業など、安全で安心な保育環境を整備するための取組を進めている。
- ・ しかしながら、近年の共働き世帯の増加などにより入所申込数は年々増加しており、未入所者数や年度途中の待機児童数が増加傾向であることが、数値の低下につながった要因と考えられる。

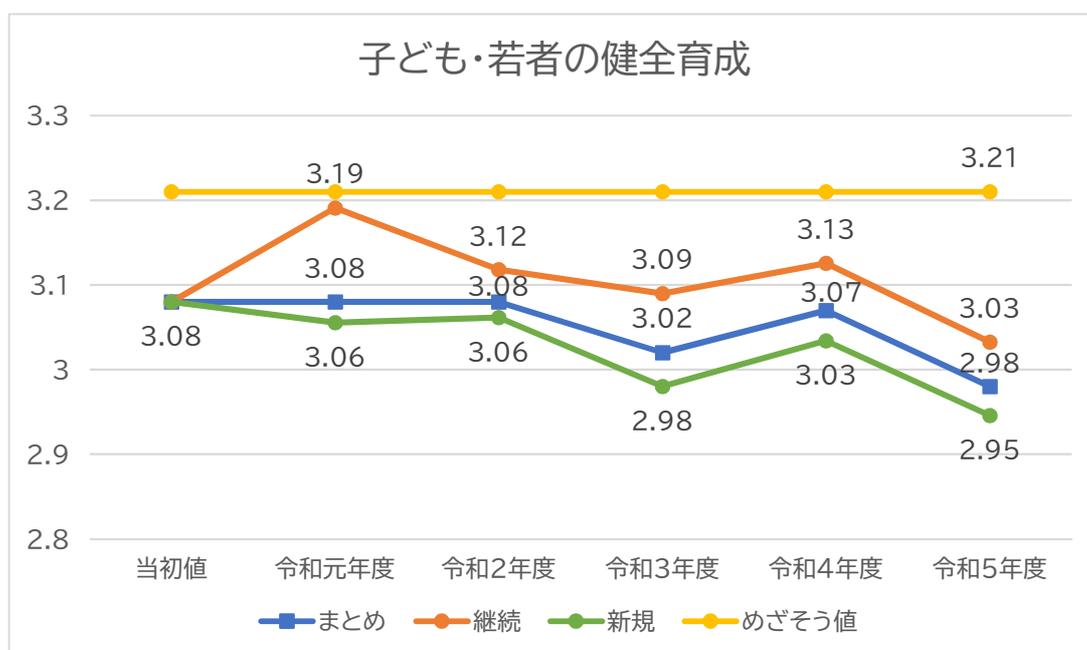
#### ④ 子ども・若者の健全育成 めざそう値 3.21

市民が一丸となって心豊かな青少年を育むために、学校・家庭・地域・行政が連携して、子どもや若者一人一人の成長を継続して支援する環境づくりが進められている。

当初値 3.08 現状値(R05年度) 2.98 (-0.10pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.08	3.21	3.08	3.08	3.02	3.07	2.98	-0.23	-0.10
		(3.19)	(3.12)	(3.09)	(3.13)	(3.03)	-0.18	-0.05
		(3.06)	(3.06)	(2.98)	(3.03)	(2.95)	-0.26	-0.13

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



#### 【所管課分析】

- ・ コロナ禍により、青少年育成事業が中止になることが多く、小中学生が地域のリーダーとして活躍する機会が減少したこと、また、その影響により、コロナ禍が落ち着いてきた後も、コロナ禍以前よりも事業参加者が減少したことが、数値の低下につながった要因と考えられる。
- ・ 一方、青少年の居場所ユープレの利用者数は、開所以来増加し続けており、中高生を中心とした若者の居場所として認知度を増していると考えられる。しがしながら、学校や家庭以外に、青少年が自分の居場所だと感じることができ、地域や社会とつながることができる場所のニーズが高まっているため、今後は、地域との関わりをユープレから発信していけるよう取り組んでいく。

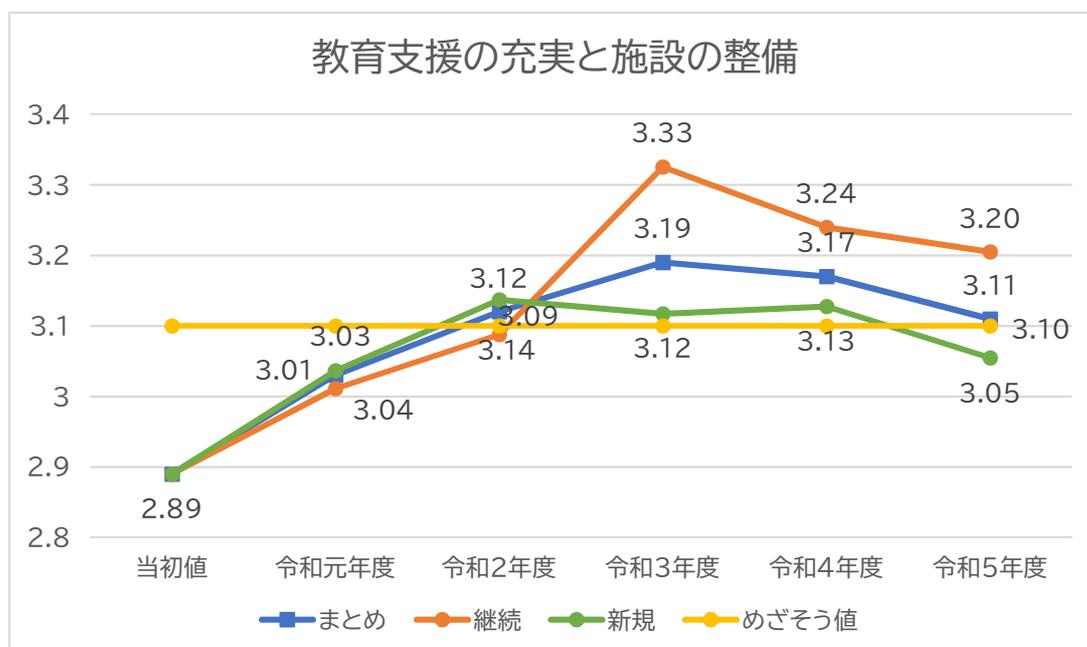
## ⑤ 教育支援の充実と施設の整備 めざそう値 3.10

児童生徒やその保護者に対する必要な支援の実施や、学校施設の整備が進められ、安全・安心・快適・健康に学校生活を送ることができる環境が整っている。

当初値 2.89 現状値(R05年度) 3.11 (+0.22pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.89	3.10	3.03	3.12	3.19	3.17	3.11	+0.01	+0.22
		(3.01)	(3.09)	(3.33)	(3.24)	(3.20)	+0.10	+0.31
		(3.04)	(3.14)	(3.12)	(3.13)	(3.05)	-0.05	+0.16

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 当初値 2.89 から、第5回調査では、3.11 に上昇しており、めざそう値を上回ることができた。数値が一番高かった第3回調査は、令和3年度に、下大和小学校校舎と大和中学校屋内運動場の改修と大和小学校増築を行ったことが要因と考えられる。
- ・ また、令和4年度には、奨学金制度の拡充や中学校ランチ給食サービスの電子注文の導入、大野小学校校舎の空調設備や大野東小学校屋内運動場トイレの改修などを行った結果、めざそう値を上回ったと考えられる。

## ⑥ 学校教育環境の振興

めざそう値 3.16

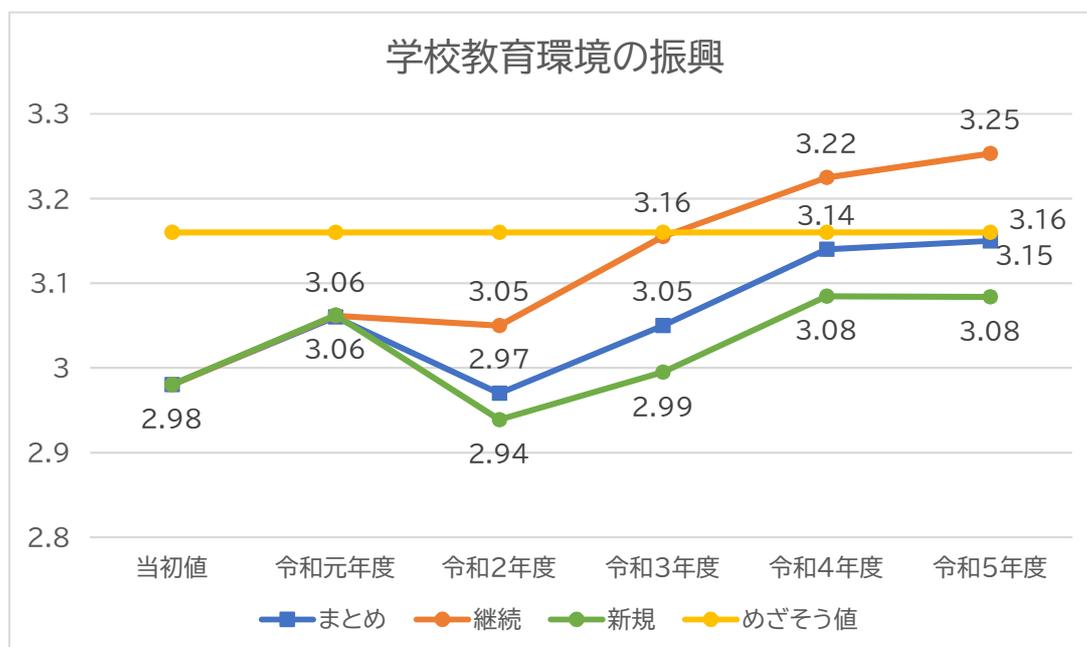
学校教育における児童生徒用のコンピューターをはじめとした情報手段を活用するために必要な設備や学習教材などが充実しており、効果的に学習できる環境が整っている。

当初値 2.98

現状値(R05年度) 3.15 (+0.17pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.98	3.16	3.06	2.97	3.05	3.14	3.15	-0.01	+0.17
		(3.06)	(3.05)	(3.16)	(3.22)	(3.25)	+0.09	+0.27
		(3.06)	(2.94)	(2.99)	(3.08)	(3.08)	-0.08	+0.10

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 第2回調査での数値の低下は、新型コロナウイルス感染症による小中学校の臨時休業が影響したと考えられる。
- ・ 第3回調査以降は、令和2年度に児童生徒1人1台のタブレット端末や、各教室に大型提示装置(テレビ)を整備し、ICT教育を推進してきたことが、数値の上昇につながり、その結果、当初値 2.98 から第5回調査の 3.15 に上昇し、おおむね、めざそう値と同値となったものと考えられる。

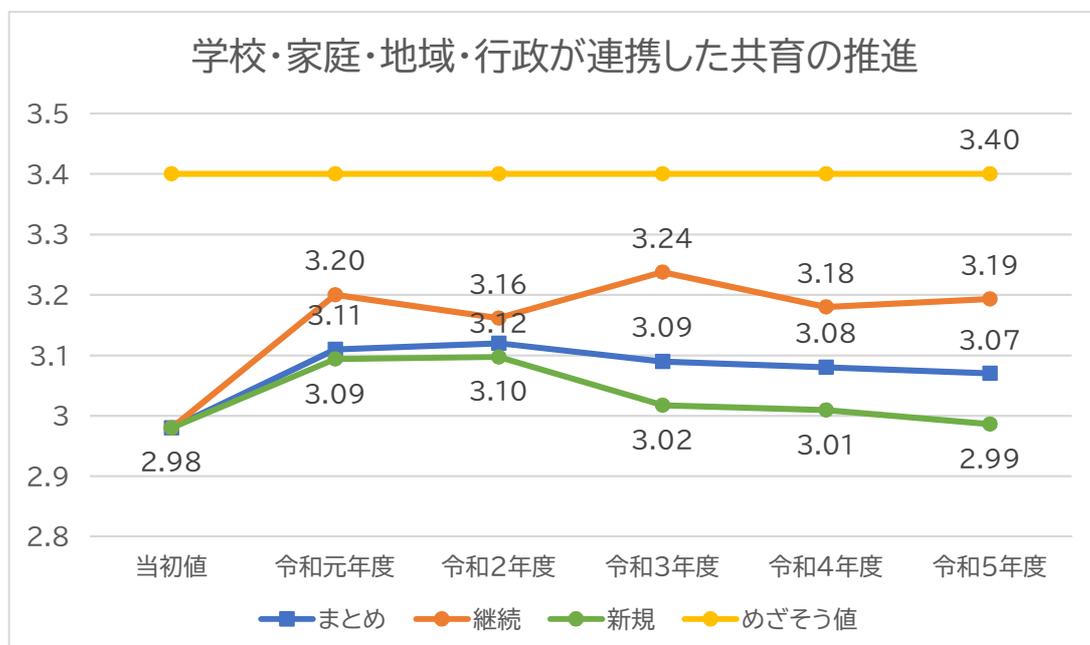
## ⑦ 学校・家庭・地域・行政が連携した共育の推進 めざそう値 3.40

学校・家庭・地域・行政が連携して、子どもたちの放課後の居場所や家庭での学習環境づくりが進められている。

当初値 2.98 現状値(R05年度) 3.07 (+0.09pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.98	3.40	3.11	3.12	3.09	3.08	3.07	-0.33	+0.09
		(3.20)	(3.16)	(3.24)	(3.18)	(3.19)	-0.21	+0.21
		(3.09)	(3.10)	(3.02)	(3.01)	(2.99)	-0.41	+0.01

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 当初値より数値は上昇したものの、第3回調査以降、緩やかに減少し、めざそう値を達成することができなかった。本市は、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体化したランドセルクラブを令和2年度から段階的に実施し、令和4年度には全小学校で実施している。利用者が年々増加しており、留守家庭児童保育所以外にも特別教室等を使用しながら児童の受入れを行っているが、活動スペースの確保が課題となっている。
- ・ また、家庭教育学級事業において、子どもの生活・学習習慣、人間形成の基盤は家庭であるという考えをもとに、家庭での学習環境づくりを進めているが、コロナ禍により、開催回数や受講生が減少したことが数値にも表れているものとする。

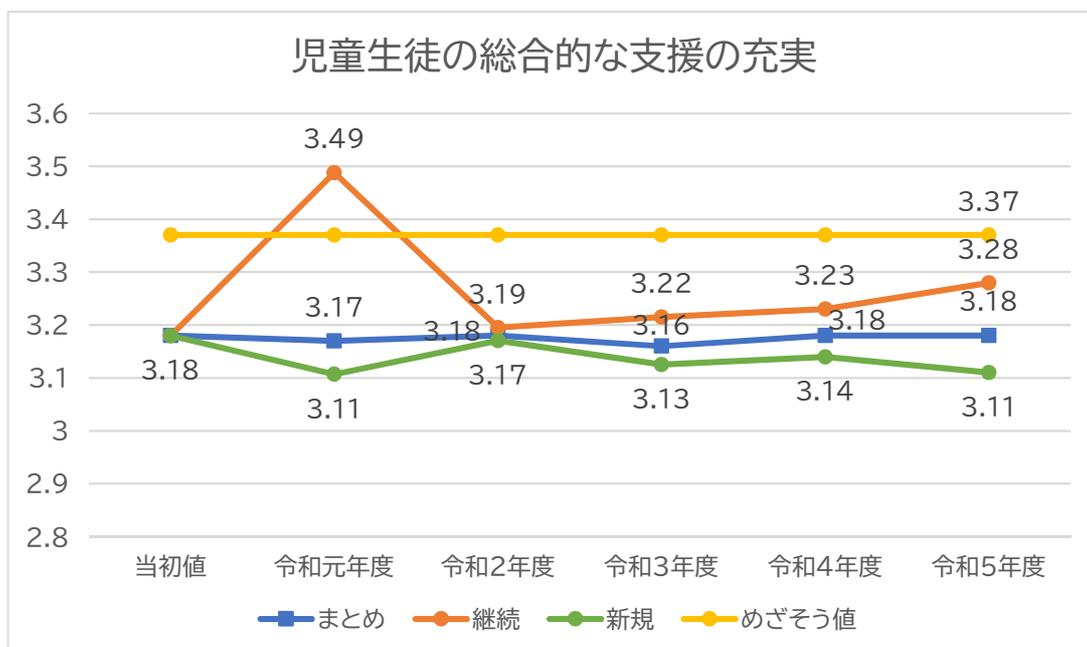
## ⑧ 児童生徒の総合的な支援の充実 めざそう値 3.37

児童生徒の基礎的な知識や学ぶ意欲などを向上させ、確かな学力と豊かな人間性を育むとともに、いじめ対策や不登校の児童生徒およびその保護者への支援など、一人一人に寄り添った相談支援体制が整っている。

当初値 3.18      現状値(R05年度) 3.18 (+0.00pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.18	3.37	3.17	3.18	3.16	3.18	3.18	-0.19	±0.00
		(3.49)	(3.19)	(3.22)	(3.23)	(3.28)	-0.09	+0.10
		(3.11)	(3.17)	(3.13)	(3.14)	(3.11)	-0.26	-0.07

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 当初値 3.18 から、第5回調査の 3.18 まで、ほぼ横ばいで推移している。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、約3年間、学級閉鎖や休業措置、また、様々な教育活動が制限されたことなどの影響により、こどもたちのストレス増大による問題行動や不登校が増加した。
- ・ コロナ禍の行動制限等による生活様式の変化や価値観の多様化により、必要とされる支援も多岐に渡ってきていることに加え、市や学校で行っている個別の相談支援体制について周知が行き届かなかったことが調査結果に影響したものとする。

### (3)政策 03 誰もが自分らしくすこやかに生活できるまちづくり～健康長寿・福祉～

健康づくり・食育の展開や、生活習慣病対策によって、健康寿命の延伸に取り組めます。

また、高齢者が活躍できる機会を増やし、介護予防を推進するとともに、身近な地域で受けられるサービスや生活支援の充実を図り、すこやかに暮らすことができるまちづくりを進めます。

障がいのある人の自立支援や社会参加の促進に取り組み、障がいのある人もない人もお互いを理解し合いながら、ともに自分らしく生きることができるまちづくりに取り組めます。

また、地域の中で全ての市民が安心して暮らしていくため、地域のつながりを深め、住まい・医療・介護・生活支援などが一体的に提供される支え合うまちづくりを進めます。

#### 【調査結果表】

	当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
1 ところと体の健康づくりの推進 生活習慣病の対策などと併せて、健康づくりに関心を持ちやすい環境が整備され、健康寿命の延伸につながっている。	3.01	3.16	3.04	3.10	3.10	3.12	3.11	-0.05	+0.10
			(3.16)	(3.21)	(3.21)	(3.20)	(3.27)	+0.11	+0.26
			(3.02)	(3.06)	(3.04)	(3.07)	(3.01)	-0.15	-0.00
2 高齢者の生きがいづくり 高齢者が豊かな知識や経験を発揮し、地域社会に参加しやすい環境が整っている。	3.03	3.28	3.03	3.05	3.06	3.08	3.04	-0.24	+0.01
			(3.17)	(3.05)	(3.12)	(3.10)	(3.15)	-0.13	+0.12
			(3.00)	(3.05)	(3.03)	(3.07)	(2.96)	-0.32	-0.07
3 地域包括ケア体制と介護予防の推進 医療・介護・福祉の関係機関や地域ボランティアなどが連携し、高齢者が住み慣れた地域で、人生の最後まで自分らしく生活できる環境が整っている。	3.04	3.29	3.03	3.06	3.05	3.06	3.03	-0.26	-0.01
			(3.18)	(3.13)	(3.09)	(3.10)	(3.12)	-0.17	+0.08
			(3.00)	(3.03)	(3.03)	(3.03)	(2.98)	-0.31	-0.06
4 地域福祉の推進 地域住民がお互いに助け合い、支え合う福祉のまちづくりが進められている。	3.09	3.22	3.09	2.97	2.92	2.94	2.92	-0.30	-0.17
			(3.18)	(2.96)	(3.00)	(2.99)	(3.00)	-0.22	-0.09
			(3.07)	(2.97)	(2.87)	(2.91)	(2.87)	-0.35	-0.22
5 障がい者(児)の社会参加の支援 障がいのある人の自立支援や社会参加が促進され、誰もが自分らしく生活できる社会がつけられている。	3.19	3.38	3.17	3.17	3.16	3.18	3.13	-0.25	-0.06
			(3.20)	(3.33)	(3.22)	(3.22)	(3.19)	-0.19	±0.00
			(3.16)	(3.10)	(3.12)	(3.15)	(3.09)	-0.29	-0.10
6 生活保障と自立支援 経済的に困っている人の生活が保障されるとともに、自立に向けた相談窓口や支援が充実している。	3.16	3.26	3.14	3.00	2.97	2.97	2.92	-0.34	-0.24
			(3.13)	(3.07)	(3.03)	(3.00)	(3.03)	-0.23	-0.13
			(3.14)	(2.97)	(2.93)	(2.94)	(2.85)	-0.41	-0.31

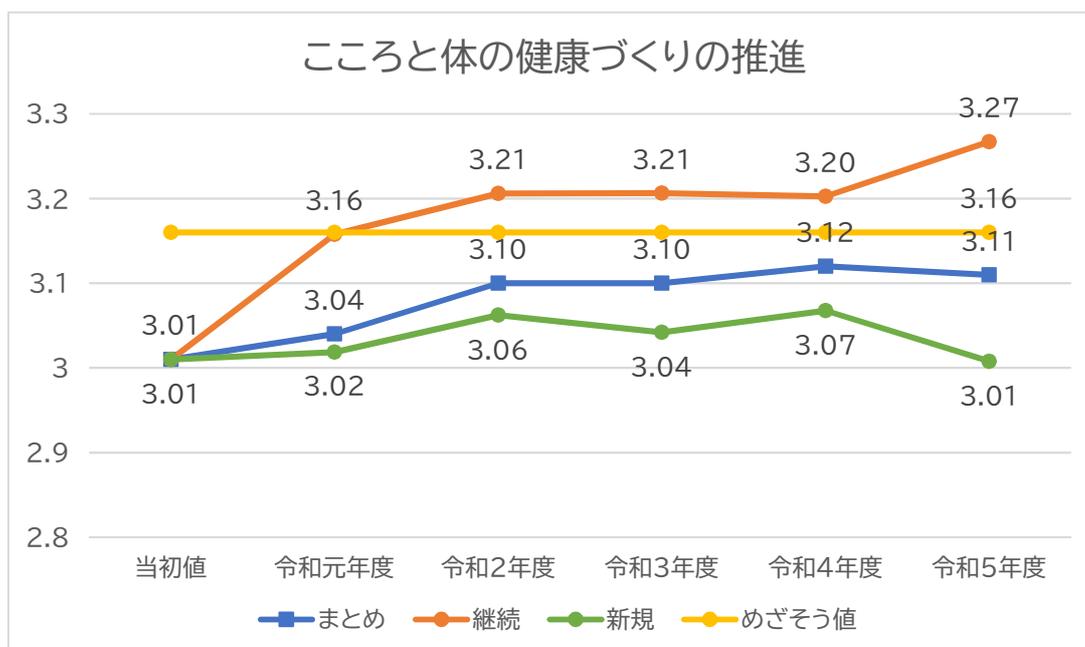
## ① こころと体の健康づくりの推進 めざそう値 3.16

生活習慣病の対策などと併せて、健康づくりに関心を持ちやすい環境が整備され、健康寿命の延伸につながっている。

当初値 3.01      現状値(R05年度) 3.11 (+0.10pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.01	3.16	3.04	3.10	3.10	3.12	3.11	-0.05	+0.10
		(3.16)	(3.21)	(3.21)	(3.20)	(3.27)	+0.11	+0.26
		(3.02)	(3.06)	(3.04)	(3.07)	(3.01)	-0.15	-0.00

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・めざそう値は達成しなかったが、コロナ禍も重なり、自身の健康に関する意識が高まる中で、がん検診を個別医療機関で受診できる体制整備や特定健診受診費用のワンコイン化などの各種健診受診率向上対策、保健師・管理栄養士による出前講座の積極的な実施、本市健康ポイント事業と県健康アプリとの連携開始など、感染対策に留意しながら各種保健事業を積極実施したことが数値の上昇につながったと考えられる。
- ・また、広報・ホームページ・チラシなど様々な方法で事業周知し、生活習慣病対策を推進したことも数値の上昇の要因と考えられる。

## ② 高齢者の生きがいがづくり

めざそう値 3.28

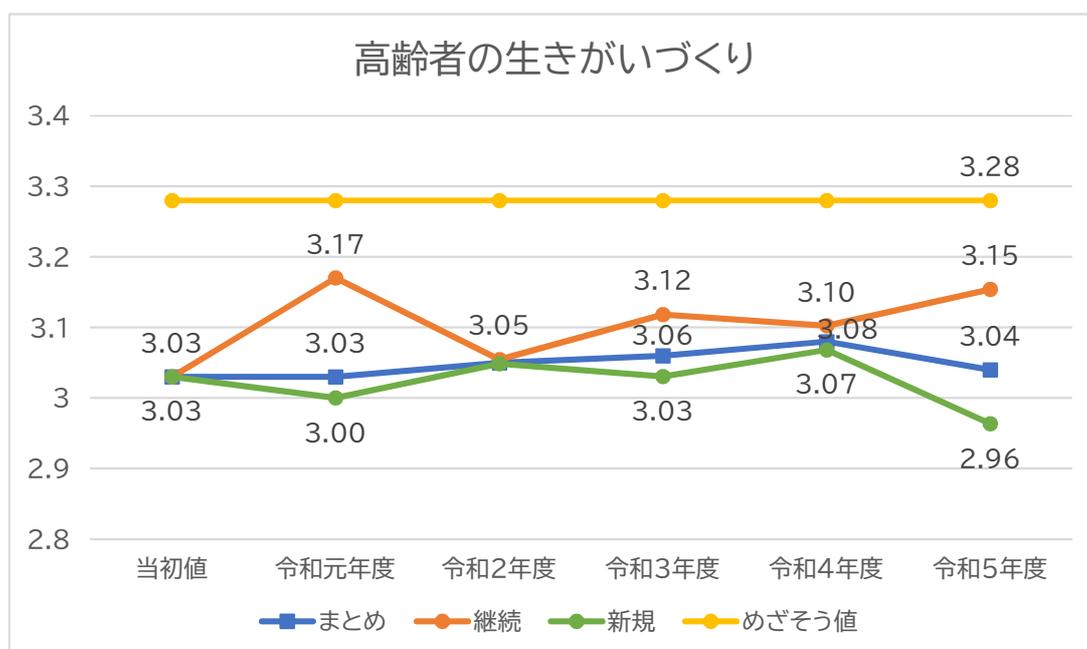
高齢者が豊かな知識や経験を発揮し、地域社会に参加しやすい環境が整っている。

当初値 3.03

現状値(R05年度) 3.04 (+0.01pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.03	3.28	3.03	3.05	3.06	3.08	3.04	-0.24	+0.01
		(3.17)	(3.05)	(3.12)	(3.10)	(3.15)	-0.13	+0.12
		(3.00)	(3.05)	(3.03)	(3.07)	(2.96)	-0.32	-0.07

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、シニアクラブや介護予防ボランティア、シニア大学「山城塾」の活動や実施の制限、及び生きがい創造センターや老人憩の家の休館などで、高齢者の社会参加の機会が減少していたが、現在では回復している状況である。
- ・ ただし、めざそう値には届かなかったため、今後、高齢者が社会参加できる機会の一層の充実に向け、各種施策の着実な実行と、高齢者や地域団体のニーズや実情を踏まえた取組を検討し、地域貢献や生涯学習活動、創作活動、就労などを通して、高齢者が地域社会に積極的に参加できる環境づくりを進めていく。

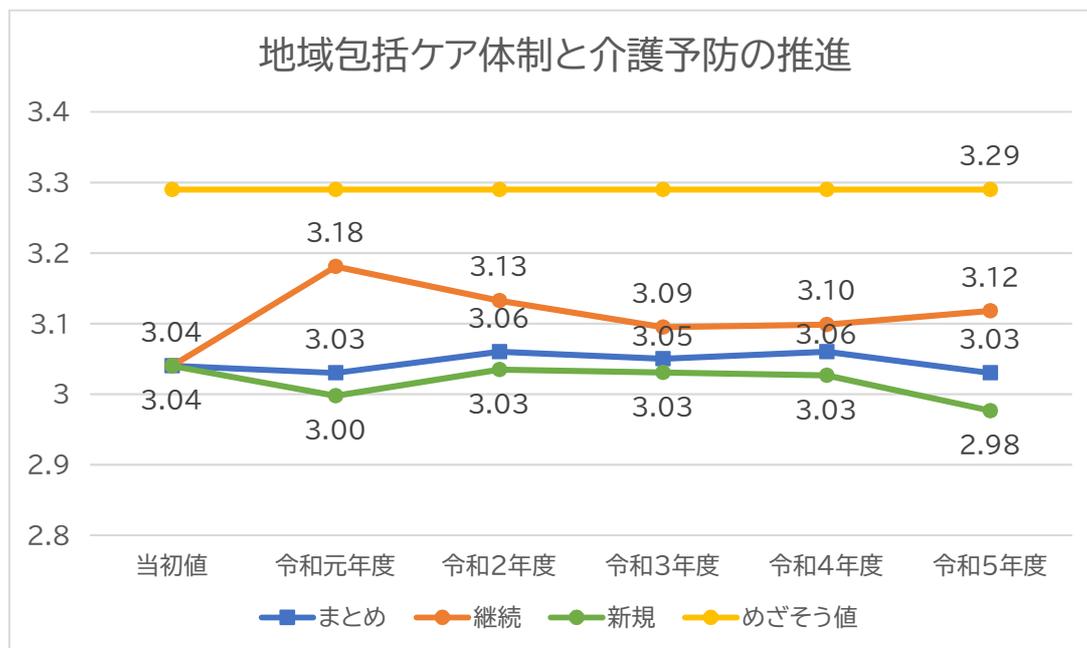
### ③ 地域包括ケア体制と介護予防の推進 めざそう値 3.29

医療・介護・福祉の関係機関や地域ボランティアなどが連携し、高齢者が住み慣れた地域で、人生の最後まで自分らしく生きることができる環境が整っている。

当初値 3.04 現状値(R05年度) 3.03 (-0.01pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.04	3.29	3.03	3.06	3.05	3.06	3.03	-0.26	-0.01
		(3.18)	(3.13)	(3.09)	(3.10)	(3.12)	-0.17	+0.08
		(3.00)	(3.03)	(3.03)	(3.03)	(2.98)	-0.31	-0.06

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



#### 【所管課分析】

- 本市では、地域包括支援センターの設置や生活支援体制整備事業などにより、地域包括ケア体制の構築、また、足元気教室及びシニア大学などの一般介護予防事業により介護予防の推進に取り組んでいる。めざそう値は、これまで新たな施策や事業の拡充を行うものの、当初値からほぼ横ばいであり、増加する高齢者数に伴う多様なニーズの顕在化や、誰もが等しく訪れる体力の低下・認知症発症への不安がアンケート結果に表れているものと考えられる。
- そのため、今後増加する認知症のある高齢者や一人暮らし高齢者への支援、地域・医療・介護事業所などと連携した地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に取り組んでいく。

#### ④ 地域福祉の推進

めざそう値 3.22

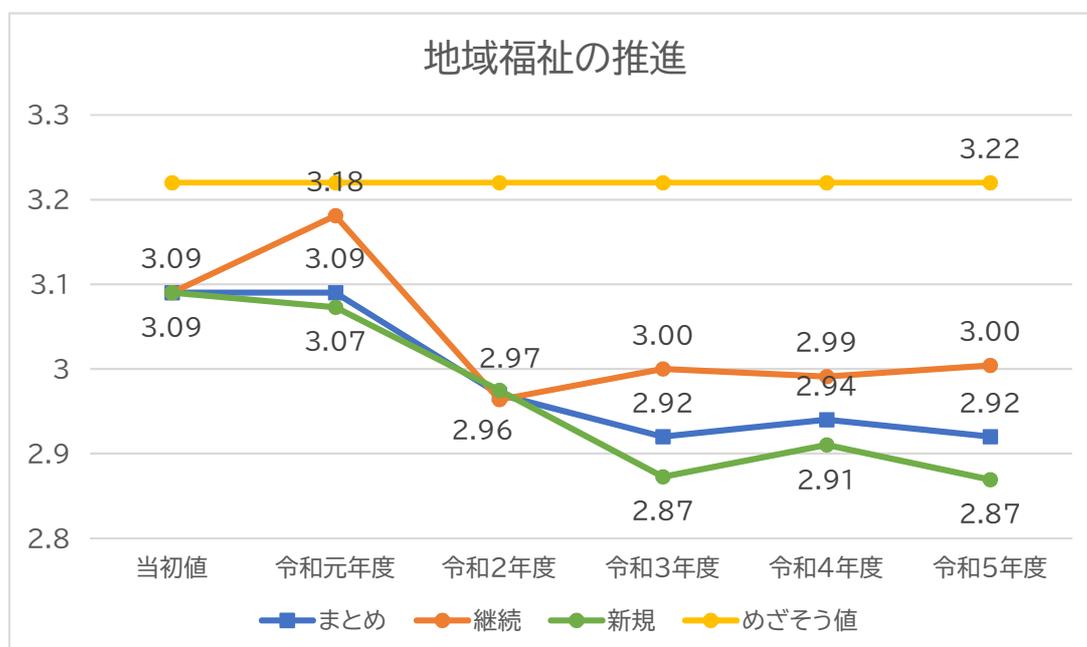
地域住民がお互いに助け合い、支え合う福祉のまちづくりが進められている。

当初値 3.09

現状値(R05年度) 2.92 (-0.17pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.09	3.22	3.09	2.97	2.92	2.94	2.92	-0.30	-0.17
		(3.18)	(2.96)	(3.00)	(2.99)	(3.00)	-0.22	-0.09
		(3.07)	(2.97)	(2.87)	(2.91)	(2.87)	-0.35	-0.22

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



#### 【所管課分析】

- ・ 第2～3期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画に基づき、多彩な人材が地域で活躍できるように様々な事業を展開してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活が制限され、地域の方々がこれまで実施してきた地域福祉活動が思うようにできない状況が続いたため、当初値から数値が低下していると考えられる。
- ・ 新しい生活様式を模索しながら、以前の日常を取り戻しつつある今後は、令和6年度から新しくスタートした第1期大野城市地域福祉計画に基づく新たな事業も展開していき、地域福祉のさらなる推進を図っていく。

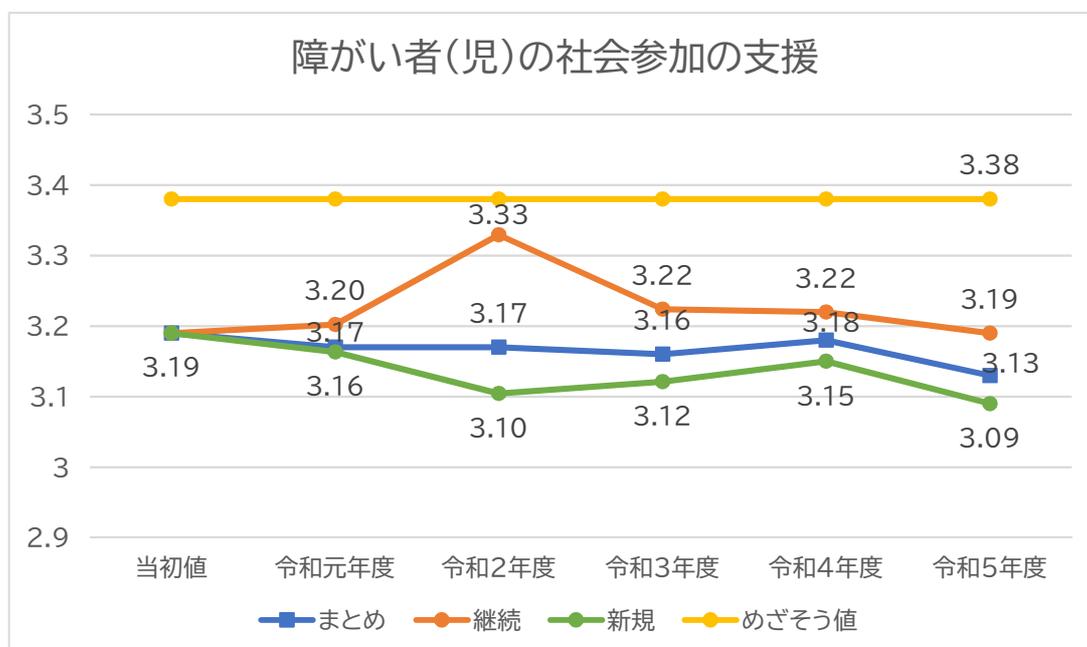
## ⑤ 障がい者(児)の社会参加の支援 めざそう値 3.38

障がいのある人の自立支援や社会参加が促進され、誰もが自分らしく生活できる社会がつけられている。

当初値 3.19      現状値(R05年度) 3.13 (-0.06pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.19	3.38	3.17	3.17	3.16	3.18	3.13	-0.25	-0.06
		(3.20)	(3.33)	(3.22)	(3.22)	(3.19)	-0.19	±0.00
		(3.16)	(3.10)	(3.12)	(3.15)	(3.09)	-0.29	-0.10

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 障害児通所給付や障害福祉サービスを提供する事業所が年々増加し、それに伴い潜在的なニーズが喚起され、利用者は毎年増加している状況である。このような中、関係機関との連携や協議により、短期入所や共同生活援助等を提供する市内の事業者が増加していることから、当初値からほぼ横ばいでの推移となっていると考える。
- ・ 今後は「第7期大野城市障がい福祉計画・第3期大野城市障がい児福祉計画」に基づき、更なる利用者数の増に対応するための各種サービスの提供体制の整備等を進めていくことで、障がい者(児)の社会参加の支援を行っていく。

## ⑥ 生活保障と自立支援

めざそう値 3.26

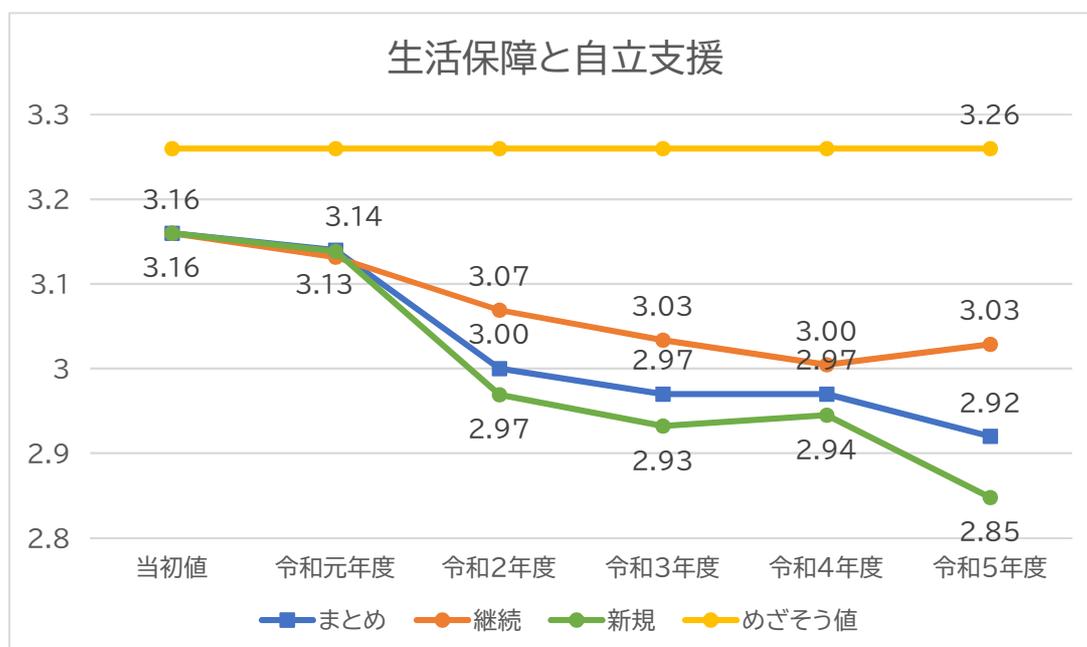
経済的に困っている人の生活が保障されるとともに、自立に向けた相談窓口や支援が充実している。

当初値 3.16

現状値(R05年度) 2.92 (-0.24pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.16	3.26	3.14	3.00	2.97	2.97	2.92	-0.34	-0.24
		(3.13)	(3.07)	(3.03)	(3.00)	(3.03)	-0.23	-0.13
		(3.14)	(2.97)	(2.93)	(2.94)	(2.85)	-0.41	-0.31

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済の停滞等による生活困窮世帯の増加が懸念されていたが、国のコロナ対策による各種給付金等の支援策のほか、市としても生活保障や自立支援に取り組んだ結果、令和4年度までは本市の生活保護受給者数は、ほぼ横ばいとなっていた。
- ・ また、令和5年度は、コロナ対策による各種給付金等の終了や、物価高騰、雇用情勢の停滞が市民生活に影響を与え、生活保護受給者数が十数年ぶりに増加に転じた。このような近年の社会経済状況の影響を受けた結果、当初値よりも数値が低下したものと考えられる。

#### (4)政策 04 都市と自然が共生した安全で安心なまちづくり ～都市環境・安全安心～

長期展望に基づいた都市基盤の整備を進め、活気あふれる都市空間を創出するとともに豊かな自然と調和した住環境の保全に取り組みます。

また、道路や公園、上下水道施設などの都市施設の計画的な改修や長寿命化を図りながら、市民ニーズに対応した快適なまちづくりを進めます。

いつ起こるかわからない災害に備えて、訓練や災害用備蓄など、市、地域、家庭、個人の各レベルでの防災・減災の取り組みを進め、災害に強く、安心して住めるまちを創ります。

また、多様化する犯罪や事故から市民を守るため、市民一人一人が防犯意識を高め、地域ぐるみで犯罪を抑止する環境づくりに取り組み、地域、企業、行政などが連携して安全で安心なまちづくりを進めます。

#### 【調査結果表】

	当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
1 機能的で潤いのある都市空間の創出 バスや電車などの地域公共交通ネットワークの再構築やバリアフリー化などを通して、全ての人が心地よく生活できる都市空間が つくられている。	3.03	3.18	3.02	3.12	3.08	3.15	3.00	-0.18	-0.03
			(3.11)	(3.16)	(3.16)	(3.22)	(3.10)	-0.08	+0.07
			(3.00)	(3.11)	(3.03)	(3.11)	(2.93)	-0.25	-0.10
2 西鉄連続立体交差事業の推進と高架下空間の活用 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業の推進や高架下空間の活用 などにより、魅力的な中心市街地の形成が進められている。	2.93	3.24	3.00	3.12	3.20	3.40	3.09	-0.15	+0.16
			(2.98)	(3.04)	(3.29)	(3.42)	(3.22)	-0.02	+0.29
			(3.01)	(3.15)	(3.15)	(3.39)	(3.01)	-0.23	+0.08
3 幹線道路の整備と公園の管理 駅周辺などの中心市街地と周辺住宅地を結ぶ幹線道路の整備に よる交通渋滞の緩和や、道路交通の安全確保の取り組みが進めら れているほか、公園の再整備や維持管理により、緑とゆりのある 都市空間が生まれだされている。	3.10	3.33	3.09	3.10	3.09	3.18	3.01	-0.32	-0.09
			(3.08)	(3.14)	(3.14)	(3.16)	(3.15)	-0.18	+0.05
			(3.09)	(3.09)	(3.06)	(3.20)	(2.91)	-0.42	-0.19
4 自然や生活環境の保全と循環型社会の構築 自然や生活環境の保全と、ゴミの減量やリサイクルの推進など による循環型社会の構築を進めながら、自然と住民同士が共生する 社会がつけられている。	2.89	3.20	3.00	3.09	3.16	3.22	3.17	-0.03	+0.28
			(3.03)	(3.19)	(3.25)	(3.24)	(3.30)	+0.10	+0.41
			(2.99)	(3.05)	(3.12)	(3.20)	(3.08)	-0.12	+0.19
5 上下水道施設の整備と維持管理 水道管などの老朽化対策や浸水被害解消に向けた雨水施設の整 備などを通して、安全で安心な都市の生活が守られている。	2.86	3.10	3.01	3.11	3.15	3.23	3.27	+0.17	+0.41
			(3.06)	(3.22)	(3.21)	(3.32)	(3.39)	+0.29	+0.53
			(3.00)	(3.07)	(3.12)	(3.17)	(3.20)	+0.10	+0.34
6 安全安心なまちづくりの推進 地域・警察・消防・行政などの関係機関が連携し、災害に強く、犯罪 や事故のない、安全で安心な生活環境が整っている。	2.87	3.21	3.00	3.12	3.17	3.23	3.19	-0.02	+0.32
			(3.07)	(3.25)	(3.32)	(3.34)	(3.30)	+0.09	+0.43
			(2.99)	(3.08)	(3.10)	(3.16)	(3.11)	-0.10	+0.24

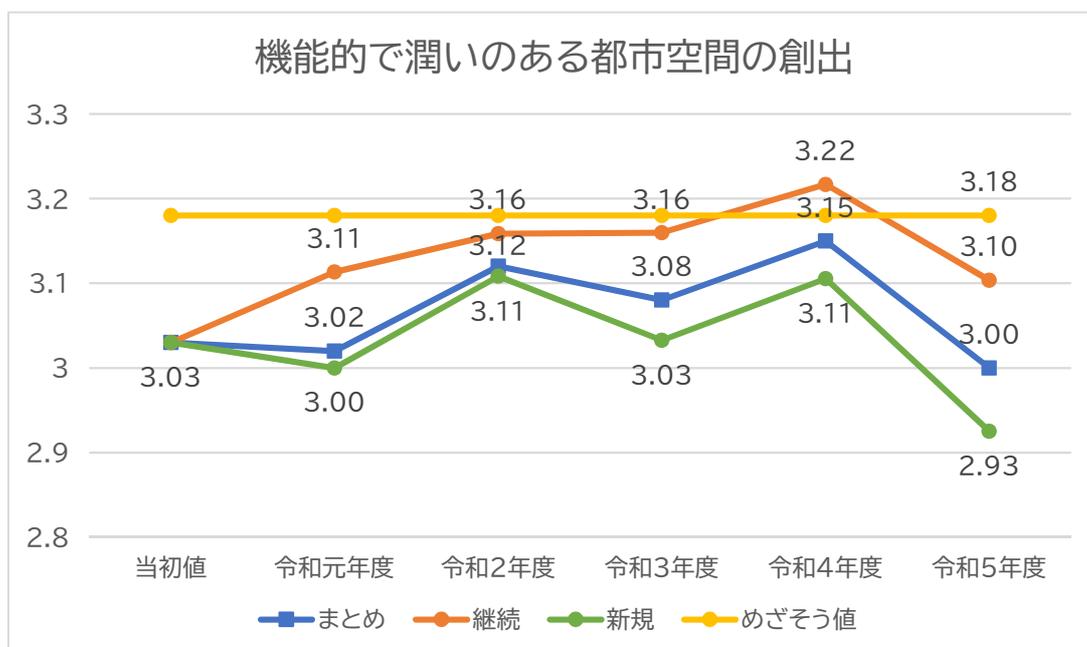
## ① 機能的で潤いのある都市空間の創出 めざそう値 3.18

バスや電車などの地域公共交通ネットワークの再構築やバリアフリー化などを通して、全ての人が心地よく生活できる都市空間がつけられている。

当初値 3.03 現状値(R05年度) 3.00 (-0.03pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.03	3.18	3.02	3.12	3.08	3.15	3.00	-0.18	-0.03
		(3.11)	(3.16)	(3.16)	(3.22)	(3.10)	-0.08	+0.07
		(3.00)	(3.11)	(3.03)	(3.11)	(2.93)	-0.25	-0.10

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- 令和4年度には、西鉄連続立体交差事業において鉄道高架化が実施されたことによって、踏切渋滞が緩和されるなどの効果が表れ、バスの定時運行性が向上したため、第4回調査の数値が上昇したものと考えられる。
- しかしながら、令和5年度には、民間バス路線における運転手不足等に起因した減便や、経費高騰を背景にした運賃値上げが決定したため、第5回調査の数値が低下したと考えられる。今後は、コロナ禍で変化した生活様式の変化も踏まえた地域公共交通の再編を進めていくことが求められている。

## ② 西鉄連続立体交差事業の推進と高架下空間の活用

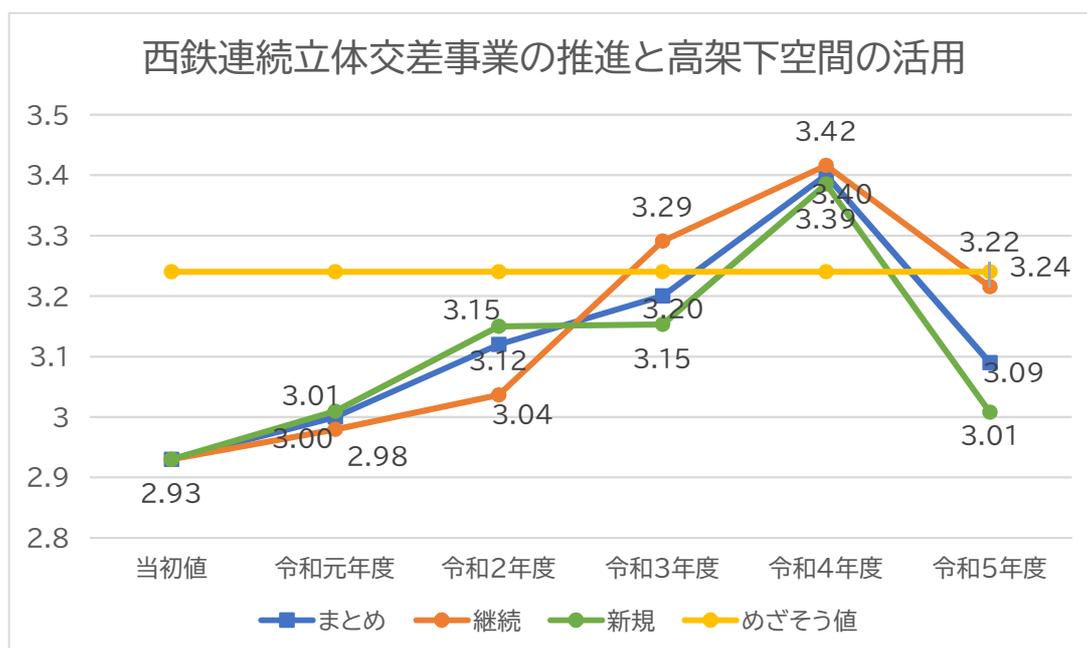
めざそう値 3.24

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業の推進や高架下空間の活用などにより、魅力的な中心市街地の形成が進められている。

当初値 2.93      現状値(R05年度) 3.09 (+0.16pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.93	3.24	3.00	3.12	3.20	3.40	3.09	-0.15	+0.16
		(2.98)	(3.04)	(3.29)	(3.42)	(3.22)	-0.02	+0.29
		(3.01)	(3.15)	(3.15)	(3.39)	(3.01)	-0.23	+0.08

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- ・当初値 2.93 から第4回調査までは 3.40 まで上昇し、第5回調査では 3.09 まで低下したものの、当初値からは上昇した結果となった。
- ・数値の推移の要因として、令和4年8月28日の西鉄天神大牟田線の高架開通に向けた利便性向上に対する期待から年々上昇したものと考える。高架開通後は、高架下及び周辺の整備事業に着手したことによる工事の影響で、数値が低下したものと考えられる。

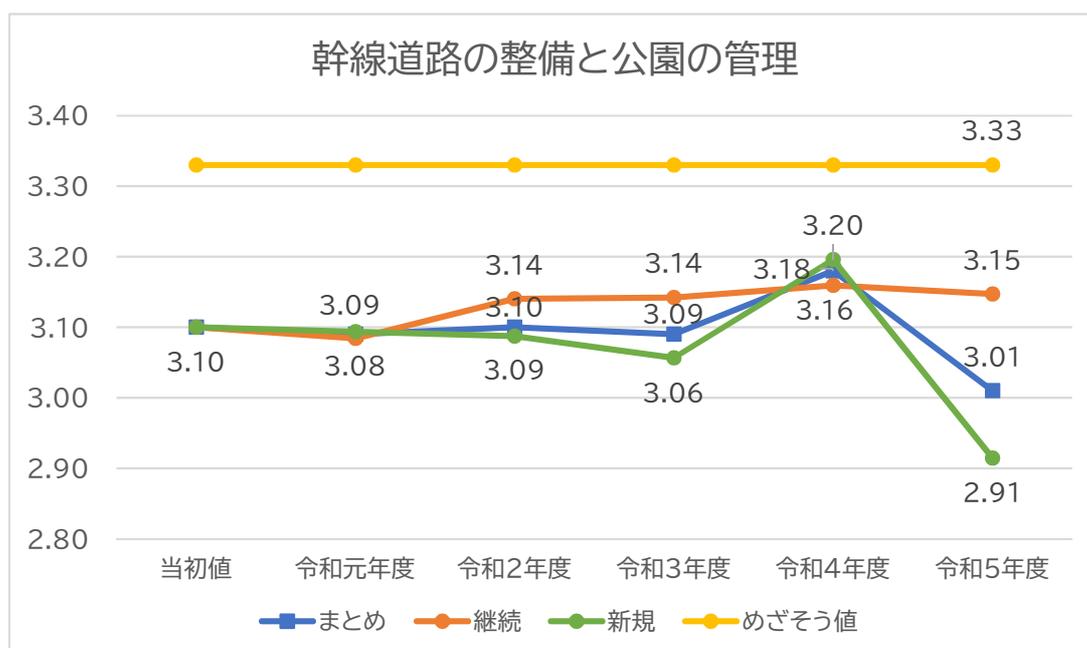
### ③ 幹線道路の整備と公園の管理 めざそう値 3.33

駅周辺などの中心市街地と周辺住宅地を結ぶ幹線道路の整備による交通渋滞の緩和や、道路交通の安全確保の取り組みが進められているほか、公園の再整備や維持管理により、緑とゆとりのある都市空間が生まだされている。

当初値 3.10      現状値(R05年度) 3.01 (-0.09pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
3.10	3.33	3.09	3.10	3.09	3.18	3.01	-0.32	-0.09
		(3.08)	(3.14)	(3.14)	(3.16)	(3.15)	-0.18	+0.05
		(3.09)	(3.09)	(3.06)	(3.20)	(2.91)	-0.42	-0.19

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



#### 【所管課分析】

- ・当初値の 3.10 から第3回調査まで横ばいで推移していたが、第4回調査で 3.18 まで上昇したのは、令和4年度の西鉄天神大牟田線の高架開通後に踏切が除却されたことによる交通渋滞の緩和等によるものと考えられる。
- ・また、第5回調査で数値が低下したのは、高架開通後に周辺の整備に着手したことによる工事の影響と考えられる。
- ・今後は、継続して取り組んでいる街区公園等の長寿命化対策や高架周辺整備の進捗ならびに完了に向けて各種事業を推進していく。

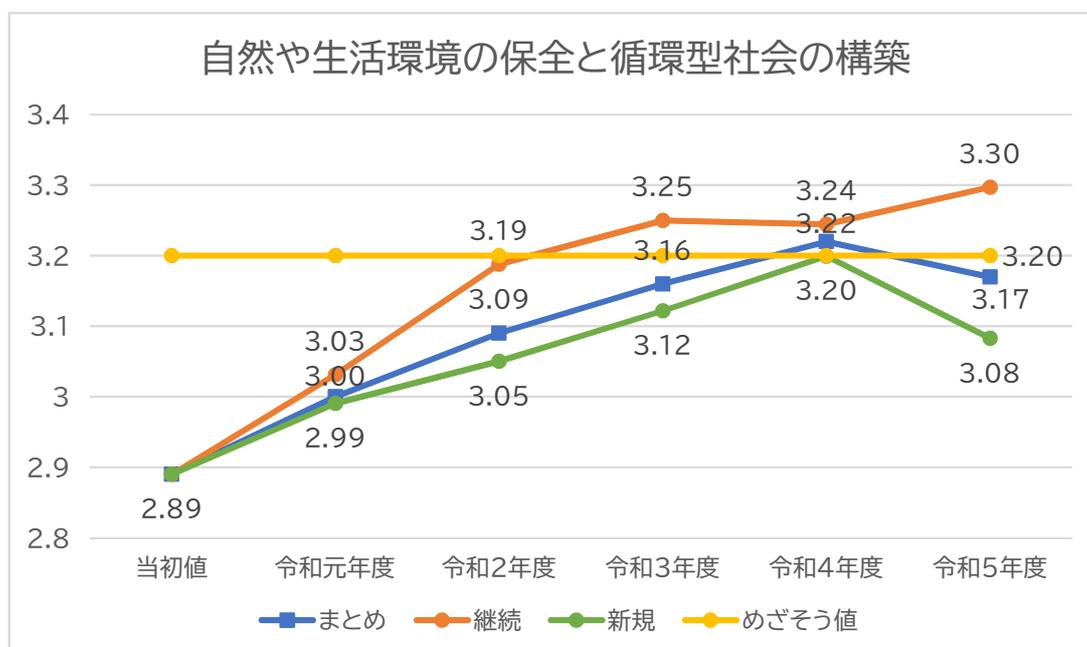
#### ④ 自然や生活環境の保全と循環型社会の構築 めざそう値 3.20

自然や生活環境の保全と、ゴミの減量やリサイクルの推進などによる循環型社会の構築を進めながら、自然と住民同士が共生する社会がつけられている。

当初値 2.89 現状値(R05年度) 3.17 (+0.28pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.89	3.20	3.00	3.09	3.16	3.22	3.17	-0.03	+0.28
		(3.03)	(3.19)	(3.25)	(3.24)	(3.30)	+0.10	+0.41
		(2.99)	(3.05)	(3.12)	(3.20)	(3.08)	-0.12	+0.19

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



#### 【所管課分析】

- ・ 第5回調査は第4回調査から数値が低下しているものの、当初値 2.89 から、右肩上がりで上昇している。自然との共生においては、環境保護団体と連携しながら、大野城市の豊かな自然環境を保全・再生する活動を推進するとともに、ゼロカーボンシティを宣言し、地球温暖化防止対策に取り組んだ成果であると考えます。
- ・ また、ごみの減量やリサイクルの推進について、実績としてごみの量は減少傾向にある。これは、近年のSDG'sの浸透に伴う環境意識の高まりや、市が実施する古紙等回収奨励金事業等の各種補助事業や広報・出前講座等による各種啓発の効果によるものと考えます。

## ⑤ 上下水道施設の整備と維持管理

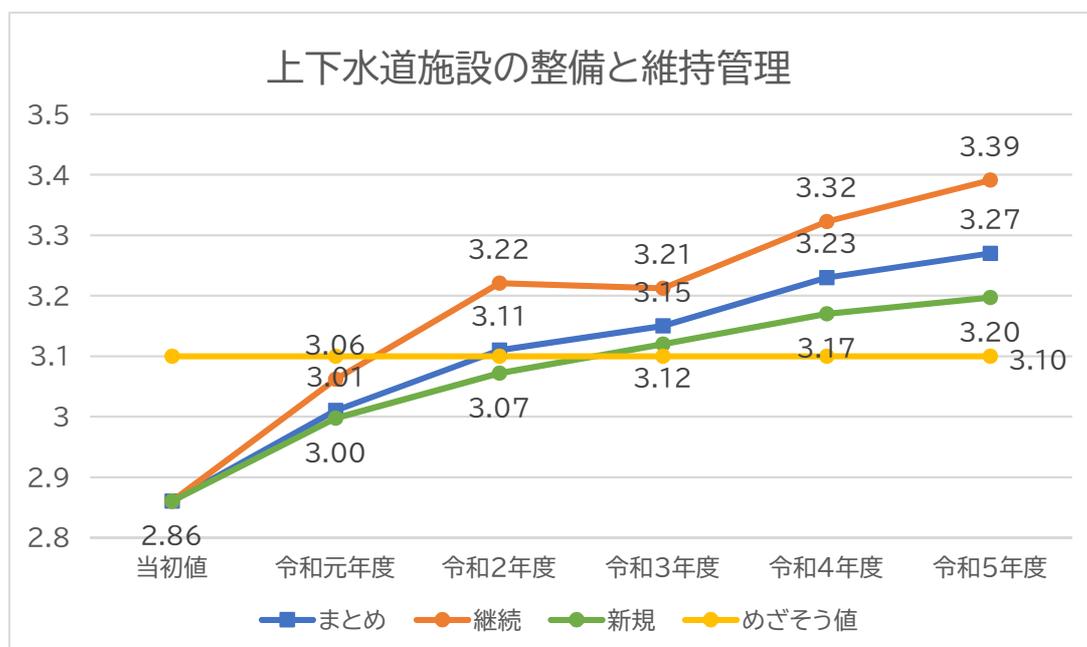
めざそう値 3.10

水道管などの老朽化対策や浸水被害解消に向けた雨水施設の整備などを通して、安全で安心な都市の生活が守られている。

当初値 2.86 現状値(R05年度) 3.27 (+0.41pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.86	3.10	3.01	3.11	3.15	3.23	3.27	+0.17	+0.41
		(3.06)	(3.22)	(3.21)	(3.32)	(3.39)	+0.29	+0.53
		(3.00)	(3.07)	(3.12)	(3.17)	(3.20)	+0.10	+0.34

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- 5年間で当初値 2.86 から 3.27 まで順調に上昇している。上昇している要因としては、水道管の老朽化対策や雨水施設の整備を計画的に進め、漏水や浸水被害が減少していることから、安全で安心な都市の生活を実感できていると考えられる。

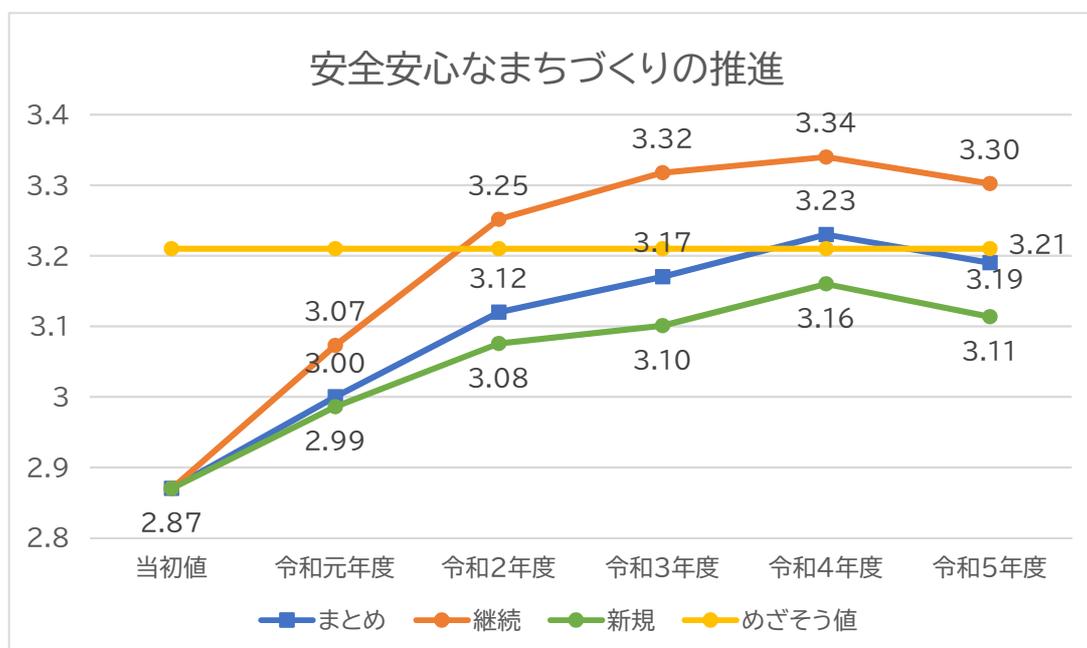
## ⑥ 安全安心なまちづくりの推進 めざそう値 3.21

地域・警察・消防・行政などの関係機関が連携し、災害に強く、犯罪や事故のない、安全で安心な生活環境が整っている。

当初値 2.87 現状値(R05年度) 3.19 (+0.32pt)

当初値	めざそう値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	めざそう値との比較	当初値との比較
2.87	3.21	3.00	3.12	3.17	3.23	3.19	-0.02	+0.32
		(3.07)	(3.25)	(3.32)	(3.34)	(3.30)	+0.09	+0.43
		(2.99)	(3.08)	(3.10)	(3.16)	(3.11)	-0.10	+0.24

(上段:まとめ 中段:継続対象者 下段:新規対象者)



### 【所管課分析】

- 令和元年度から開始した総ぐるみ防災訓練の実施により、市内全域において訓練参加者が増加し、市民の防災意識向上につながっている。また、自主防災組織による防災活動についても、積極的な支援の拡充により活発化し、備蓄品や資機材の充実とともに地域防災力の向上につながっていると考える。
- 地域・警察・行政などの関係機関が連携して取組を推進したこと、新型コロナウイルス感染症による外出抑制により、平成30年から令和3年までの刑法犯認知件数は急激な減少傾向となったが、令和4年以降、人流が戻ったことが主な原因で増加に転じている。一方、交通事故発生件数は、平成30年から令和5年までほぼ継続して減少している。これらのことにより、めざそう値は令和4年度まで上昇を継続したものの、令和5年度はやや下降したものと考えられる。